

2024年度 DEOS研修講座ご案内

高度IT技術者の育成と地域情報化に貢献する
(株)北海道ソフトウェア技術開発機構 (DEOS)

2024

4



2025

3

開催分



～ IT・デジタル人材の育成を通じて地域の情報化推進に貢献 ～

株式会社北海道ソフトウェア技術開発機構（DEOS）は、地域における高度 IT 技術者の育成と地域情報化の促進を目的として、1991年に国、道、札幌市、金融機関、産業界等の出資を得て設立されました。

以来、研修事業を通じて高度 IT・デジタル人材の育成などを行ってまいりました。

当社の研修は、地下鉄菊水駅から徒歩4分の好立地にある自社施設にて実施し、全国各地の実績ある講師陣による高品質で丁寧な指導が特徴であり、毎年100講座を開講し、約400名の方に受講いただいております。

研修は、個々の習熟度に応じたきめ細かな対応ができる集合型を基本としておりますが、遠隔地での受講が可能となる双方向型オンライン研修を拡充したほか、時間と場所を選ばないeラーニング講座も開催しております。

また、デジタルトランスフォーメーション（DX）への対応は、ITソリューションを担うベンダー企業のみならず、一般企業においてもその対応は待ったなしの状況となりつつあります。

本冊をご覧いただき、ベンダー企業における第一線のエンジニアや重要性が高まるプロジェクトリーダー層における人材育成はもとより、一般企業における新たな事業へのチャレンジを行うためのデジタル人材育成等に当社の研修をお役立ていただければ幸いです。

令和6年3月

株式会社北海道ソフトウェア技術開発機構

専務取締役 佐藤憲明

目 次

コーススケジュール	3
コース内容	7
1. 新入社員研修	7
2. アプリケーション開発技術	8
(1)プログラミング言語	8
(2)コンテンツ制作／フロントエンド開発	13
(3)Webアプリケーション開発	14
(4)ノーコード・ローコード開発	14
(5)スマホアプリ開発	15
(6)開発基盤	16
3. システム基盤構築技術	18
(1)データベース	18
(2)ネットワーク	20
(3)セキュリティ	22
(4)サーバ／OS	23
(5)クラウド	25
4. 上流工程・テスト	29
(1)ビジネス変革	29
(2)要件定義	33
(3)テスト	34
5. AI・データサイエンス	35
6. マネジメント系	37
(1)PMBOK準拠	37
(2)プロジェクトマネジメント実践	39
(3)アジャイルプロジェクトマネジメント	44
7. eラーニング「SQT」	45
8. パーソナル	50
(1)コミュニケーション	50
(2)ネゴシエーション	56
(3)リーダーシップ／ファシリテーション	57
(4)コーチング／チームビルディング／問題解決	59
9. メンタルヘルス	62
10. 業務アプリケーション	63
11. セキュリティマネジメント	65
12. 階層別研修	66
(1)管理職、管理職候補者	66
(2)中堅社員、リーダー	71
オーダーメイド研修／リクエスト研修について	73
助成金について	74
お申し込みについて	75
講習会申込書	76

コーススケジュール

1. 新入社員研修(集合・リモートコースが選択できます)

コード	コース名	区分	PDU	受講料 (税込)	日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	詳細 頁
TA011 TA012	IT技術者のための新入社員研修短期コース システム開発×チーム演習1			407,000	30	2-16												7
TA021 TA022	IT技術者のための新入社員研修標準コース システム開発×チーム演習3	▲		561,000	38	2-28						4-28						7
TA031 TA032	IT技術者のための新入社員研修長期コース システム開発×チーム演習6			770,000	50	2-		13										8
TA041 TA042	新入社員営業・総務IT研修			46,200	15	2-4												8
XS250	【オンライン】新人エンジニアのためのビジネスマナー	●		55,000	3				3-5									9

2. アプリケーション開発技術

(1)プログラミング言語

コード	コース名	区分	PDU	受講料 (税込)	日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	詳細 頁
TJ001	JavaI(プログラミング入門)	▲		60,500	2							15-16						10
TJ002	JavaII(クラスとインスタンス)	▲		60,500	2							17-18						10
TJ003	JavaIII(標準APIの利用)	▲		60,500	2							21-22						11
TP001	Python入門			78,100	3				8-10									11
TB001	VisualBasic基礎編			49,500	2					1-2								12
TB002	VisualBasic応用編	▲		73,700	3					5-7								12

(2)コンテンツ制作/フロントエンド開発

コード	コース名	区分	PDU	受講料 (税込)	日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	詳細 頁
TF010	HTML/CSSによるJavaScriptコンテンツ作成入門			74,800	3				17-19									13

(3)Webアプリケーション開発

コード	コース名	区分	PDU	受講料 (税込)	日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	詳細 頁
TK011	GitlabによるGitとCIのペア演習	●		66,000	2									16-17			4-5	14

(4)ノーコード・ローコード開発

コード	コース名	区分	PDU	受講料 (税込)	日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	詳細 頁
UA101	DXWebシステムのノーコード構築=オープンソースのコンテンツ管理システム(CMS)を利用して			78,100	3						2-4							14
UA201	Power PlatformによるローコードAIアプリ開発入門	●		55,000	2						9-10							15

(5)スマホアプリ開発

コード	コース名	区分	PDU	受講料 (税込)	日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	詳細 頁
TE110	Flutterアプリ開発演習			60,500	2	◎当コースを受講希望する方は、リクエストによる開催を承ります。												15

(6)開発基盤

コード	コース名	区分	PDU	受講料 (税込)	日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	詳細 頁
TK010	開発者のためのGit入門			49,500	2					20-21						20-21		16
TK020	開発者のためのDocker活用入門			49,500	2						24-25					4-5		17

3. システム基盤構築技術

(1)データベース

コード	コース名	区分	PDU	受講料 (税込)	日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	詳細 頁
TD001	データベースI(SQL編)			47,300	2				29-30			28-29						18
TD002	データベースII(論理設計編)			51,700	2					22-23			2-3					18
TD003	データベースIII(導入/運用編)			51,700	2						18-19			21-22				19
TD004	データベースIV(SQLチューニング編)			51,700	2							7-8				26-27		19

(2)ネットワーク

コード	コース名	区分	PDU	受講料 (税込)	日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	詳細 頁
TN001	ネットワークテクノロジーI(基礎・セキュリティ)			80,300	3				2-4									20
TN002	ネットワークテクノロジーII(デモ環境で学ぶLAN WAN 設計基礎編)	▲		62,700	2							15-16						20
TN003	ネットワークテクノロジーIII(実機で学ぶ 中小規模 LAN 構築編)	▲		62,700	2								7-8					21
TN032	ネットワークテクノロジーIV(実機で学ぶ大規模 LAN WAN 構築編)	▲		86,900	3									11-13				21

※区分: ●印は「新規」、▲印は、講座内容の一部変更があった講座です。詳細頁を参照ください。

※表示の金額はすべて消費税率10%を含めた金額です。

(3)セキュリティ

コード	コース名	区分	PDU	受講料 (税込)	日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	詳細 頁
TS002	攻撃手法から学ぶセキュリティ対策	▲		60,500	2										27-28			22
TS003	ファイアウォールで学ぶネットワークセキュリティ =リモートワーク時代のセキュリティ=			80,300	3									2-4				22

(4)サーバ/OS

コード	コース名	区分	PDU	受講料 (税込)	日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	詳細 頁
TW001	WindowsServer基本管理	▲		60,500	2						19-20							23
TL010	開発者のためのシェルスクリプト入門			51,700	2				25-26									23
TL020	Linuxシステム管理			55,000	2								12-13					24

(5)クラウド

コード	コース名	区分	PDU	受講料 (税込)	日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	詳細 頁
TC030	クラウドサービス入門			57,200	2						17-18							25
TC031	クラウドセキュリティ基礎			77,000	2					6-7								25
TC033	クラウドを利用したセキュリティの管理	●		154,000	2								19-20					26
TC032	認証基盤の統合とクラウド化			110,000	2								14-15					26
TC040	AWSで学ぶネットワークとTCP/IPの基礎			60,500	2					27-28								27
TC060	AWSによるサーバレスシステム構築演習			66,000	2							3-4						27
TC050	AWSで学ぶクラウドネットワーク設計と構築	●		66,000	2						26-27							28

4. 上流工程・テスト

(1)ビジネス変革

コード	コース名	区分	PDU	受講料 (税込)	日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	詳細 頁
ST010	デジタル(DX)時代の事例から学ぶビジネス価値提案		12	66,000	2						12-13							29
ST011	デジタル(DX)時代の業務のデジタルシフトへの考え方・進め方 = サービスデザインを踏まえた要件定義 =		12	66,000	2										28-29			30
ST021	エンジニアのためのデザイン思考入門			66,000	2							21-22						31
XS410	【オンライン】DXリテラシー研修 =DXを正しく理解し、推進していくために=			55,000	2	◎当コースを受講希望する方は、リクエストによる開催を承ります。												32

(2)要件定義

コード	コース名	区分	PDU	受講料 (税込)	日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	詳細 頁
MD001	DX時代の要件定義入門			29,700	1										15			33
MD002	DX時代の要件定義演習			51,700	2										16-17			33

(3)テスト

コード	コース名	区分	PDU	受講料 (税込)	日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	詳細 頁
MD010	テストエンジニア研修			51,700	2				22-23									34
MD011	テスト設計技法実践ワーク			51,700	2							10-11						34

5. AI・データサイエンス

コード	コース名	区分	PDU	受講料 (税込)	日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	詳細 頁
IA010	Pythonによる機械学習入門			60,500	2								28-29					35
TD110	Pythonによるデータ分析演習			60,500	2				16-17									35
IA021	生成AI入門	●		22,000	1				18									36
IA022	プロンプトエンジニアリング入門	●		38,500	1				19									36

6. マネジメント系

(1)PMBOK準拠 ※PMBOK第6版+PMBOK第7版

コード	コース名	区分	PDU	受講料 (税込)	日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	詳細 頁
PM030	ITプロジェクトマネジメント入門 (PMBOK6版+PMBOK7版対応)		14	66,000	2				9-10									37
PM032	ITプロジェクトマネジメント計画 (PMBOK6版+PMBOK7版対応)		14	71,500	2						10-11							37
PM033	ITプロジェクトマネジメント実行管理 (PMBOK6版+PMBOK7版対応)		14	71,500	2								12-13					38

※区分: ●印は「新規」、▲印は、講座内容の一部変更があった講座です。詳細頁を参照ください。

※表示の金額はすべて消費税10%を含めた金額です。

(2)プロジェクトマネジメント実践

コード	コース名	区分	PDU	受講料 (税込)	日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	詳細 頁
PM011	上流フェーズレビュー実践 ＝プロジェクト・プロダクトリスクを許容範囲に封じ込める＝			51,700	2				4-5									39
PM012	サーバントリーダーシップとファシリテーション活用したプロジェクトマネジメント			51,700	2					29-30								39
PM040	失敗しないプロジェクトのための段取り力 ＝段取り八分で先憂後楽プロジェクト＝		12	55,000	2								25-26					40
PM041	失敗しないプロジェクトのためのリスク先読み力 ＝プロジェクトの最重要ポイント、見えない問題を予防する＝		12	55,000	2								27-28					41
XS241	【オンライン】失敗しないプロジェクトのための段取り力 ＝段取り八分で先憂後楽プロジェクト＝	●		55,000	3										20-22			42
XS242	【オンライン】失敗しないプロジェクトのためのリスク先読み力 ＝プロジェクトの最重要ポイント、見えない問題を予防する＝	●		55,000	3											17-19		43

(3)アジャイルプロジェクトマネジメント

コード	コース名	区分	PDU	受講料 (税込)	日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	詳細 頁
PM034	デジタル時代に適応するアジャイルシフト	▲	6	38,500	1										30			44
PM120	アジャイルプロジェクトマネジメント			66,000	2							24-25						44

7. eラーニング「SQT」

コード	コース名	区分	PDU	受講料 (税込)	標準時間	備考	詳細 頁
TJ010	JDBC プログラミング入門			3,300	10	利用可能期間: 受講開始日から30日間	47
TJ022	Spring Boot Web プログラミング(基礎編)			6,600	20	利用可能期間: 受講開始日から30日間	47
TF011	HTML/CSS 入門			7,150	20	利用可能期間: 受講開始日から30日間	48
TL011	Linuxコマンド入門			5,500	20	利用可能期間: 受講開始日から30日間	48
VJ010	ITパスポート取得講座			9,900	-	利用可能期間: 受講開始日から90日間	49

8. パーソナル

(1)コミュニケーション

コード	コース名	区分	PDU	受講料 (税込)	日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	詳細 頁
XS210	【オンライン】IT技術者とDX推進者のためのコミュニケーション ＝「論理的」で「伝わる」意思疎通の技法＝			55,000	3					5-7				9-11				50
PS025	ChatGPTを活用したドキュメンテーション研修 ＝生産性10倍！！＝	●		55,000	2								20-21					51
XS260	【オンライン】IT技術者のための営業力強化	●		55,000	3								6-8					52
PS042	プレゼンやミーティングに役立つ図解力 ＝情報を整理し分かり易く伝える技術＝			16,500	1					9				6				53
PS061	-どこに行ってもひっぱりだこ！最強の人材になろう- 人生を変える話し方			38,500	2				29-30									53
PS064	-どこに行ってもひっぱりだこ！最強の人材になろう- ビジネスに必要な読解力・要約力・想像力向上研修			38,500	2						9-10							54
PS062	-どこに行ってもひっぱりだこ！最強の人材になろう- ビジネス基礎1(マナー編)			38,500	2	◎当コースを受講希望する方は、リクエストによる開催を承ります。 開催希望の3ヶ月前までに、kensyu@deos.co.jp宛以下の項目をお知らせ下さい。 ・連絡先(御社名、担当者名、メールアドレス、電話番号)、開催希望時期、受講者数												55
PS063	-どこに行ってもひっぱりだこ！最強の人材になろう- ビジネス基礎2(仕事術・文書編)			38,500	2													55

(2)ネゴシエーション

コード	コース名	区分	PDU	受講料 (税込)	日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	詳細 頁
XS220	【オンライン】IT技術者のためのネゴシエーション＝社外・社内交渉をWin-Winにするために＝			55,000	3					26-28								56

(3)リーダーシップ／ファシリテーション

コード	コース名	区分	PDU	受講料 (税込)	日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	詳細 頁
XS230	【オンライン】IT技術者のためのリーダーシップ＝部下育成、動機付け、方針提示について学ぶ＝			55,000	3							7-9						57
PS041	ファシリテーションを活用したチーム・マネジメント			55,000	2				25-26								6-7	58

※区分: ●印は「新規」、▲印は、講座内容の一部変更があった講座です。詳細頁を参照ください。

※表示の金額はすべて消費税10%を含めた金額です。

(4)コーチング/チームビルディング/問題解決

コード	コース名	区分	PDU	受講料 (税込)	日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	詳細 頁
PS040	コーチング・フィードバックを活用した「自ら成長する」人材の育て方			55,000	2			27-28									6-7	59
PS026	チームビルディングとモチベーションアップ = 5つ教えて、4つ褒め、1つ叱る =	●		55,000	2								18-19					60
XS280	【オンライン】IT技術者のため問題解決力向上 =なぜなぜから始める問題解決 =	●		55,000	3											5-7		61

9. メンタルヘルス

コード	コース名	区分	PDU	受講料 (税込)	日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	詳細 頁
XS270	【オンライン】IT技術者のためのメンタルヘルス・マネジメント =心を整える技術 =	●		55,000	3								11-13					62

10. 業務アプリケーション

コード	コース名	区分	PDU	受講料 (税込)	日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	詳細 頁
UD004	業務で活かすアプリケーション！ ExcelVBA編			49,500	2													◎当コースを受講希望する方は、リクエストによる開催を承ります。 開催希望の3ヶ月前までに、kensyu@deos.co.jp宛以下の項目をお知らせ下さい。 ・連絡先(御社名、担当者名、メールアドレス、電話番号)、開催希望時期、受講者数
UD005	業務で活かすアプリケーション！ Excel&Access連携編			49,500	2												63	
UD011	Accessによる業務DB作成基礎			49,500	2												64	
UD012	Accessによる業務DB作成応用			49,500	2												64	

11. セキュリティマネジメント

コード	コース名	区分	PDU	受講料 (税込)	日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	詳細 頁
UT010	初級情報システム管理者研修			55,000	2													◎当コースを受講希望する方は、リクエストによる開催を承ります。 開催希望の3ヶ月前までに、kensyu@deos.co.jp宛以下の項目をお知らせ下さい。 ・連絡先(御社名、担当者名、メールアドレス、電話番号)、開催希望時期、受講者数
US200	セキュリティキャッチアップ			—														

12. 階層別研修

(1)管理職、管理職候補者

コード	コース名	区分	PDU	受講料 (税込)	日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	詳細 頁
PS022	新任管理職や管理職候補者のための「メンバーの意欲を上げるかかわり方・考え方と手法」	●		38,500	1				18									66
PS072	人生100年時代のキャリア形成と世代間ギャップ解消 = 相互理解でリスペクトしあえる組織づくり =	●		16,500	1				8									67
PS073	相手との理解を深め、最大のアウトプットを出すためのコミュニケーション(傾聴)研修	●		16,500	1					23								68
PS050	管理職、リーダーのためのメンタルヘルス・マネジメント	▲		27,500	1							17						68
PS051	管理職、リーダーのためのアンガーマネジメント	▲		27,500	1							18						70

(2)中堅社員、リーダー

コード	コース名	区分	PDU	受講料 (税込)	日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	詳細 頁
PS020	中堅社員のための「問題解決」			77,000	2						5-6							71
PS021	中堅社員のための「自分らしく働くための自己の棚卸し」			38,500	1				19									72

※区分: ●印は「新規」、▲印は、講座内容に一部変更があった講座です。詳細頁を参照ください。

※表示の金額はすべて消費税10%を含めた金額です。

※講師や使用テキストは都合により変更になる場合がございます。

※記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商品商標です。

※記載されているシステム名、製品名などには必ずしも商品表示名(™、®)を付記していません。

※記載されているハードウェア/ソフトウェアの製品名及び会社名は、それぞれの各社・各団体の商標又は登録商標です。

集合形式の研修開催場所は、特に記載の無い場合は、当社の研修室です。

札幌市白石区菊水1条3丁目1番5号 メディア・ミックス札幌1F
(札幌市営地下鉄東西線 菊水駅4番出口より徒歩4分 東年金事務所隣)
株式会社北海道ソフトウェア技術開発機構 研修室

コース内容

1. 新入社員研修（集合・リモートコースが選択できます）

コース名	IT 技術者のための新入社員研修 短期コース (システム開発×チーム1) ※TAO12はリモートコースです		TAO11 TAO12
日 程	2024-04-02 (火) ~ 2024-05-16 (木) 30 日間 180h 9:30~16:30		
受講料	407,000円 (税込)		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人としてすぐに必要なビジネスマナーを身につける ・初級プログラマの業務に必要な IT 基礎知識やプログラミング基礎知識を身につける ・チーム演習によりシステム開発全体の流れを一通り体験する 		
受講対象 及び前提知識	新入社員、中途採用者、配置転換者 WindowsPC の操作を一通りできること、MSOffice を使用し文書作成ができること		
内 容 ※進捗状況により変更となる場合があります	自己学習 3月~7月末	e-ラーニング講座「SQT」(Windows 基本操作、IT 基礎、プログラミング入門、Web コンテンツ作成など)	
	1 日目	ビジネス基礎 ビジネスマナー「挨拶(名刺交換)、言葉遣い(敬語)など」、自己紹介(映像収録)、報・連・相など	
	2~3 日目	開発プロジェクト導入 性格調査、ツールの使い方、マークダウン記法、PowerPoint、Zoom の使い方、プレゼン実習(集合/リモート)	
	4~6 日目	Web フロント技術の基礎 HTML と CSS、CSS フレームワーク、JavaScript、jQuery	
	7~24 日目	プログラミング基礎 Java プログラミング、データベースと SQL、Web プログラミング(Spring Boot)、開発プロジェクト入門	
	25~30 日目	チーム演習1 2~3 名の同スキルレベルによるチームで穴埋め実装でプロセス体験 最終日「成果発表会」	

今年度より中期コースは、秋期日程もご用意しております。

コース名	IT 技術者のための新入社員研修 中期コース (システム開発×チーム演習3) ※TAO22はリモートコースです		TAO21 TAO22
日 程	第1クール 春期 2024-04-02 (火) ~ 2024-05-28 (火) 第2クール 秋期 2024-10-04 (金) ~ 2024-11-28 (木) 38 日間 228h 9:30~16:30		
受講料	561,000円 (税込)		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人としてすぐに必要なビジネスマナーやビジネスコミュニケーションの知識 ・初級プログラマの業務に必要な IT 基礎知識やプログラミング基礎知識を身につける ・チーム演習によりシステム開発全体の流れを一通り体験し、実装するスキルを身につける ・実用要件に合った拡張を加えたプログラムを開発実行でき、CI/CD を実践できる 		
受講対象 及び前提知識	新入社員、中途採用者、配置転換者 WindowsPC の操作を一通りできること、MSOffice を使用し文書作成ができること		
内 容 ※進捗状況により変更となる場合があります	自己学習 3月~7月末	e-ラーニング講座「SQT」(Windows 基本操作、IT 基礎、プログラミング入門、Web コンテンツ作成など)	
	1 日目	ビジネス基礎 ビジネスマナー「挨拶(名刺交換)、言葉遣い(敬語)など」、自己紹介(映像収録)、報・連・相など	
	2~3 日目	開発プロジェクト導入 性格調査、ツールの使い方、マークダウン記法、PowerPoint、Zoom の使い方、プレゼン実習(集合/リモート)	
	4~6 日目	Web フロント技術の基礎 HTML と CSS、CSS フレームワーク、JavaScript、jQuery	
	7~24 日目	プログラミング基礎 Java プログラミング、データベースと SQL、Web プログラミング(Spring Boot)、開発プロジェクト入門	
	25~38 日目	チーム演習1~3 2~3 名の同スキルレベルによるチームで反復演習 最終日「成果発表会」	
担当講師	(株) シナジークエスト・(有)ボイスオブサッポロ (予定)		

コース名	IT 技術者のための新入社員研修 長期コース (システム開発×チーム演習6) ※TAO32 はリモートコースです		TAO31 TAO32
日 程	2024-04-02 (火) ~ 2024-06-13 (木) 50 日間 300h 9:30~16:30		
受講料	770,000円 (税込)		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人としてすぐに必要なビジネスマナーやビジネスコミュニケーションの知識 ・初級プログラマの業務に必要な IT 基礎知識やプログラミング基礎知識を身につける ・チーム演習によりシステム開発全体の流れを一通り体験し、実装するスキルを身につける ・実サーバー上への実装、Web 層でのテスト、ブランチとプルリク等 CI/CD 環境を前提により実践的な開発体験ができる 		
受講対象 及び前提知識	新入社員、中途採用者、配置転換者 WindowsPC の操作を一通りできること、MSOffice を使用し文書作成ができること		
内 容 ※進捗状況により変更となる場合があります	自己学習 3月~7月末	e-ラーニング講座「SQT」 (Windows 基本操作、IT 基礎、プログラミング入門、Web コンテンツ作成など)	
	1 日目	ビジネス基礎 ビジネスマナー「挨拶 (名刺交換)、言葉遣い (敬語) など」、自己紹介 (映像収録)、報・連・相など	
	2~3 日目	開発プロジェクト導入 性格調査、ツールの使い方、マークダウン記法、PowerPoint、Zoom の使い方、プレゼン実習 (集合/リモート)	
	4~6 日目	Web フロント技術の基礎 HTML と CSS、CSS フレームワーク、JavaScript、jQuery	
	7~24 日目	プログラミング基礎 Java プログラミング、データベースと SQL、Web プログラミング (Spring Boot)、開発プロジェクト入門	
	25~50 日目	チーム演習 1~6 2~3 名の同スキルレベルによるチームで反復演習 最終日 「成果発表会」	


IT 系の企業の営業・総務職配属予定の方のための新入社員研修です。IT 技術者配属の方と一緒に受講できます。

コース名	新入社員営業・総務 IT 研修 ※TAO42 はリモートコースです		TAO41 TAO42
日 程	2024-04-02 (火) ~ 2024-04-04 (木) 3 日間 18h 9:30~16:30		
受講料	46,200円 (税込)		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人としてすぐに必要なビジネスマナーを身につける ・業務に必要な IT 基礎知識や開発プロジェクトの導入知識を身につける 		
受講対象 及び前提知識	新入社員、中途採用者、配置転換者 WindowsPC の操作を一通りできること、MSOffice を使用し文書作成ができること		
内 容 ※進捗状況により変更となる場合があります	自己学習 3月~7月末	e-ラーニング講座「SQT」 (Windows 基本操作、IT 基礎、プログラミング入門、Web コンテンツ作成など)	
	1 日目	ビジネス基礎 ビジネスマナー「挨拶 (名刺交換)、言葉遣い (敬語) など」、自己紹介 (映像収録)、報・連・相など	
	2~3 日目	開発プロジェクト導入 性格調査、ツールの使い方、マークダウン記法、PowerPoint、Zoom の使い方、プレゼン実習 (集合/リモート)	
担当講師	(株) シナジークエスト・(有) ボイスオブサッポロ (予定)		

※リモートコース受講の必須条件：御社にて一人1台のPC及びネットワーク環境をご用意下さい。




- e-ラーニング「SQT」で研修開始1か月前から講義部分の範囲を一通り自己学習出来ます。
- 人事担当者向け「研修支援システム」により、会社単位で受講者の研修実施状況をリアルタイム把握いただけます。
- 研修終了後「研修評価表」(評価、講師所感、行動分析など)を報告いたします。
- 「フォローアップ研修(10月実施予定)」は無料で受講いただけます。
- 「メンタルタフネス」についても学べます。


コース名	 新人エンジニアのためのビジネスマナー		XS250
<p>「オンライン (Zoom)」開催研修です。</p> <p>ビジネスパーソンとして基本的なマナー (「笑顔・表情」「挨拶」「態度・姿勢」「身だしなみ」「言葉遣い・敬語」など) や対応マナーを講義と演習により身につけます。実際のお仕事を想定して、ロールプレイにより他の方々と交流でき、楽しく身につけていただけます。ビジネスマナーだけではなく、お仕事を進める上で大切なタイムマネジメント、職場のコミュニケーションスキル、メンタルヘルセルフケアなども学びます。そして、講師、他者からのフィードバックにより、実践的な内容を身につけていただけます。</p>			
日 程	2024-07-03 (水) ~ 2024-07-05 (金) 3日間 12h 13:00~17:00		
受講料	55,000円 (税込)		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人としての基礎から実践までのビジネスマナーを身につけることができる。 ・職場生活のマナーを守って、日常のコミュニケーションを円滑にすることができる。 ・IT技術者に必要不可欠な職場のコミュニケーションスキルを身につけることができる。 ・メンタルヘルスを学び、ストレスに強くなれるセルフマネジメントを身につけることができる。 		
受講対象 及び前提知識	新卒エンジニア、第二新卒エンジニア、ビジネスマナーの基本を学びたい方		
内 容 ※進捗状況により変更と なる場合があります	1日目	2日目	3日目
	オリエンテーション ビジネスパーソンの 基本マナー ビジネスの対応マナー	タイムマネジメント ビジネス文書・E-mail 職場のコミュニケーション	新入社員の為のメンタルヘル ス (セルフケア) 総合演習
担当講師	セイ・コンサルティング・グループ株式会社 田淵真理子		
備考・注意	◎実習環境：オンラインホワイトボード「MIRO」を使用します。ご自身のPCに文章作成ソフト (例：OfficeWord、メモ帳など) をご用意ください。		


2. アプリケーション開発技術


(1) プログラミング言語


※内容の難易度は前提知識確認テストをご活用ください。(当社 Web サイト各講座ページに掲載)


コース名	Java I (プログラミング入門)		TJ001
<p>初学者向けのコースとして、ステップバイステップ方式で理解を確認しながら着実にスキルを構築します。条件分岐や繰り返しといった基本的な制御構造のほか、メソッドを利用して既存の手続き処理を再利用する方法や、標準 API の汎用メソッドの使用例も示します。</p>			
日程	2024-10-15 (火) ~ 2024-10-16 (水) 2日間 (12時間) 9:30-16:30		
受講料	60,500円 (税込)		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> Java 言語の概要を知り、その特徴を把握する コマンドラインと統合開発環境の両方で Java プログラムのソース作成からコンパイル、実行までができるようになる main メソッドだけを含むクラスで簡単な手続き型のプログラムを作成できるようになる 		
受講対象 及び前提知識	プログラミング初心者、Java 言語を基礎から学習したい方、新入社員 (文系/非情報系)		
内容 ※進捗状況により変更となる場合があります	1日目	Java 概要、Java プログラムの作成方法、Hello サンプル、統合開発環境、IDE の使い方、デバッガの使い方、変数、データ型、リテラル、文字と文字列演算子、文字列の比較、論理演算、課題演習	
	2日目	アルゴリズム、フローチャート、構造化プログラミング、条件分岐、if 文、switch-case 文、反復処理、for 文、while 文、do-while 文 メソッドの利用、例外処理、課題演習	
担当講師	(株) シナジークエスト	PC 実習あり	
備考・注意	実習環境 : Adoptium OpenJDK, Eclipse		

コース名	Java II (クラスとインスタンス)		TJ002
<p>豊富なサンプルにソースコードを書き換える実習を交えて、Java のクラスやインターフェイスに関する基本的な仕組みをわかりやすく解説します。共通の題材を段階的に拡張していく演習課題により、オブジェクト指向の考え方を適用したプログラミングの具体例を示します。</p>			
日程	2024-10-17 (木) ~ 2024-10-18 (金) 2日間 (12時間) 9:30-16:30		
受講料	60,500円 (税込)		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> クラスとインスタンスの関係、コンストラクタ、オーバーロード、静的メンバなど Java のクラスの仕組みがわかる オブジェクトの型と継承・インターフェイスとの関係を理解し、多態性を利用したプログラミングができるようになる 		
受講対象 及び前提知識	Java プログラミング初心者 クラスとインスタンス、継承・多態性・カプセル化などの考え方をプログラミングで使いこなしたい方		
内容 ※進捗状況により変更となる場合があります	1日目	配列、クラスとインスタンス、カプセル化、静的メンバ、課題演習	
	2日目	クラス継承、多態性、インターフェイス、課題演習	
担当講師	(株) シナジークエスト	PC 実習あり	
備考・注意	実習環境 : Adoptium OpenJDK, Eclipse		


コース名	JavaⅢ（標準APIの利用）		TJ003
<p>java.lang、java.util の各パッケージで提供される基盤的なAPIの中から特に汎用性が高いと思われるものをピックアップして、前提知識と使い方を紹介します。</p> <p>ラムダ式と関数型インターフェイスの概念を理解し、ストリームAPIを使ったプログラムを読んだり書いたりできるようになります。</p>			
日程	2024-10-21（月）～2024-10-22（火） 2日間（12時間） 9:30-16:30		
受講料	60,500円（税込）		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> モジュールとパッケージの関係を理解し、java.lang パッケージの主要クラスを使いこなせる ジェネリクス of 考え方を理解し、主要なコレクションクラスを使ったプログラムを読み書きできる ラムダ式、関数型インターフェイスを理解し、ストリームAPIを使ったプログラムを読み書きできる 		
受講対象 及び前提知識	<p>「Java II（クラスとインスタンス）」の受講者又は同等の知識をお持ちの方</p> <p>Java プログラミング経験者、Java の汎用的な基本API の機能と使い方を整理したい方</p> <p>ストリームAPI を使いこなせるようになりたい方</p>		
内容 ※進捗状況により変更となる場合があります	1日目	パッケージと標準API、Object クラス、ラッパーとオートボクシング 例外と例外処理、課題演習	
	2日目	ジェネリクス、コレクション、ムダ式と関数型インターフェイス ストリームAPI、課題演習	
担当講師	(株) シナジークエスト	PC 実習あり	
備考・注意	実習環境 : Adoptium OpenJDK, Eclipse		

コース名	Python 入門		TP001
<p>AI や IoT、データ分析等の分野でPython 言語が、多く使用されています。何らかのプログラミング作成経験があり、Python とオブジェクト指向が初めての方が理解しやすいように、文法や作り方、操作の仕方の基本編、オブジェクト指向編、機械学習の初歩へと講義と演習を行いながら3日間かけてじっくりと学んでいきます。</p> <p>プログラミング言語Python を概念・文法・開発環境の基礎的な内容について、簡単なアプリケーションを通じて理解することができます。他の言語（Java など）との違いを紹介しながら、強み弱みを体感していただきます。</p>			
日程	2024-07-08（月）～2024-07-10（水） 3日間（18時間） 9:30-16:30		
受講料	78,100円（税込）		
到達目標	Python 言語の概念・文法・開発環境の基礎的な内容を理解することができる。		
受講対象 及び前提知識	<p>プログラミング言語としてのPython を概念・文法・開発環境の基礎的な内容について理解ができる。初めてのオブジェクト指向をPython を通じて基礎を学ぶことができる。</p>		
内容 ※進捗状況により変更となる場合があります	1日目	Python 基礎編 ・開発環境について・基本的な文法・リスト、コレクション・演習問題	
	2日目	<ul style="list-style-type: none"> 関数、スコープ・演習問題 <p>Python オブジェクト指向編</p> <ul style="list-style-type: none"> オブジェクト指向の基礎・Python でのオブジェクト指向1 クラス、コンストラクタ、クラス変数とクラスメソッド 	
	3日目	<ul style="list-style-type: none"> Python でのオブジェクト指向2 カプセル化、継承、モジュール 演習問題・文字列と正規表現・ファイルと例外処理、データベース <p>Python による機械学習の初歩・グラフ作成、機械学習の手順、データの扱い</p>	
担当講師	IT コーディネータ 笠原 俊哉	PC 実習あり	
備考・注意	実習環境 : Anaconda（リモートの場合 Google Colaboratory）		

コース名	VisualBasic 基礎編		TB001
プログラミング初心者の方が理解できるように、Visual Basic の文法や作り方、操作の仕方を身に付けていきます。また、簡単なアプリケーション作成では、ソフトウェア設計の基本的な考え方を学習することで、理解を深めることができます。			
日程	2024-08-01 (木) ~ 2024-08-02 (金) 2日間 12h 9:30~16:30		
受講料	49,500円 (税込)		
到達目標	・ Visual Basic のプログラミング概念・文法・開発環境の基礎的な内容について理解し、簡単なアプリケーションを作成することができる。		
受講対象 及び前提知識	Visual Basic の基礎を習得し、ソフトウェア設計の基本的な考え方を理解したい方。 Visual Basic を初めて学ぶ方で、Windows の基本的な操作とタッチタイピングができる方		
内 容 ※進捗状況により変更となる場合があります	1日目	はじめての Visual Basic <ul style="list-style-type: none"> ・ Visual Basic のプログラムとは ・ 開発環境について ・ 基本操作 ・ Visual Basic の文法 1 	
	2日目	簡単なアプリケーションの作成 <ul style="list-style-type: none"> ・ Visual Basic の文法 2 ・ ソフトウェア設計の基本的な考え方 ・ アプリケーション作成演習 	
担当講師	IT コーディネータ 笠原 俊哉	PC 実習あり	
備考・注意	実習環境 : Visual Studio Community		

コース名	VisualBasic 応用編		TB002
Visual Basic 2015 応用編では、オブジェクト指向初心者の方が理解できるように、考え方や作り方を身に付けていきます。また、簡単なアプリケーション作成では、UML についても触れていながら、Visual Basic によるオブジェクト指向の理解を深めることができます。			
日程	2024-08-05 (月) ~ 2024-08-07 (水) 3日間 (18時間) 9:30~16:30		
受講料	73,700円 (税込)		
到達目標	・ Visual Basic のオブジェクト指向の概念を理解し、例題を通じてオブジェクト指向プログラミングの特徴を学び、簡単なアプリケーションを作成することができる。		
受講対象 及び前提知識	「Visual Basic 基礎編」受講者又は同程度の知識 (Visual Basic の基本的なプログラミングの経験) をお持ちの方、Visual Basic の基礎を理解し、ステップアップを目指している方		
内 容 ※進捗状況により変更となる場合があります	1日目	オブジェクト指向プログラミングの考え方 <ul style="list-style-type: none"> ・ オブジェクト指向の概要、クラス・インスタンスとは、カプセル化 	
	2日目	オブジェクト指向プログラミング <ul style="list-style-type: none"> ・ クラスの継承、多態性、アプリケーション作成演習 1 DBを使ったアプリケーションの作成 1 ・ 仕様の理解とクラス設計、プログラミング 	
	3日目	DBを使ったアプリケーションの作成 2 <ul style="list-style-type: none"> ・ アプリケーション作成演習 2 ・ アプリケーション作成演習 3 	
担当講師	IT コーディネータ 笠原 俊哉	PC 実習あり	
備考・注意	実習環境 : Visual Studio Community		

(2) コンテンツ制作／フロントエンド開発


コース名	HTML/CSS/JavaScriptによるコンテンツ作成入門			TF010
インターネットのあらゆるシーンで Web コンテンツが重要な役割を果たします。それを記述するための標準規格が HTML と CSS、JavaScript です。マシン実習で手を動かしながら、HTML、CSS による Web コンテンツ作成に関して最低限押さえておくべき基礎知識を習得できます。Web サイト制作のほか、ブログや CMS 上でのコンテンツ作成、専門業者への依頼/指示など、HTML と CSS が関わる多様な場面で役立つ共通の基礎知識を整理できます。				
日程	2024-07-17 (水) ~ 2024-07-19 (金) 3 日間 (18 時間) 9:30-16:30			
受講料	74,800円 (税込)			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・HTML、CSS の基本的な使い方を把握する ・最低限必要な Web コンテンツ作成に関する知識をマスターする 			
受講対象 及び前提知識	新入社員 (ソフトウェア開発者) の方、Web コンテンツ作成の基礎知識を習得したい方 変数、演算子、制御構造 (分岐、ループ) などプログラミングの基礎知識をお持ちの方			
内 容 ※魚旗状況により変更となる場合があります	1 日目	2 日目	3 日目	
	Web コンテンツとインターネットの基礎 HTML の基本 (タグと文書構造、見出し、段落)、 画像、リンク、リスト、ブロック構造、テーブル、フォーム 課題演習	CSS の基礎 (セレクタ、ボックスモデル、適用規則) 体裁指定の基本 (共通属性、フォント、色、背景)、 ボックスモデル (幅、高さ、余白、枠線) レイアウト手法、CSS フレームワーク 課題演習	JavaScript の基礎 (概要、組込方法、共通要素) オブジェクトと DOM イベント処理 ライブラリの利用 課題演習	
担当講師	(株) シナジークエスト			 PC 実習あり
備考・注意	実習環境 : VSCode、Chrome/Firefox/Edge			




「HTML/CSS/JavaScriptによるコンテンツ作成入門」参加者の声

- 講師がとても丁寧で受講しやすかったです。

(3) Web アプリケーション開発


コース名	GitLab による Git と CI のペア演習		TKO11
<p>現在広く普及しているツールと手法(Git、Docker、CI/CD ツールなど) によるチーム開発を疑似体験し、現場実務に向けた準備ができます。チーム/ペアの共同開発による教えあいを通じて、課題や対象技術の理解を深めることができます。事前にコードベースと課題を利用して、限られた時間でチケット駆動型のCI/CD を効率よく体験できます。 ※ご自身でPC やネットワーク環境を準備できる方は、リモートでの受講も可能ですので申込時にお申し出下さい。</p>			
日 程	第1クール 2024-12-16 (月) ~ 2024-12-17 (火) 第2クール 2025-03-04 (火) ~ 2025-03-05 (水) 2日間 12h 9:30~16:30		
受講料	66,000円 (税込)		
到達目標	Gitによる変更管理、Docker を利用したCI/CD 環境でチケット駆動型の開発スタイルを実践し、同様の開発スタイルに対応できるスキルを身に付けることができる		
受講対象 及び前提知識	下記講座を受講済みか同等の知識があること： - HTML/CSS/JS によるコンテンツ作成入門 - 開発者のためのGit 入門 - 開発者のためのDocker 活用入門 新入社員(技術系)、Git、Docker、CI/CD ツールを使った開発フローをこれから始める方 チーム/ペア実習を通じてGit とCI を使った共同開発の作業フローを習得したい方		
内 容 ※進捗状況により変更となる場合があります	1 日目	イントロダクション、環境説明、チーム編成、チケットワーク、PR/MR 手順 課題提示、開発演習(1日目)、1日目の振り返り	
	2 日目	GitLab CI/CD、サンプル実習、チーム課題への適用 開発演習(2日目)、全体の振り返り	
担当講師	(株) シナジークエスト	PC実習あり	
備考・注意	実習環境 Linux 仮想環境、Docker		

(4) ノーコード・ローコード開発


コース名	DX Web システムのノーコード構築		UA101
<p>デジタル技術による業務変革(DX)には、業務部門のユーザーが主体的にシステム構築に関与すること、すなわち内製の重要性が認識されつつあります。こうした背景から、プログラミング言語の知識や専用の開発環境を必要としないノーコード開発が注目されています。この講座では、ノーコード開発環境としての機能を備えたDrupal CMS を使って、簡単なWeb アプリケーションを構築し、ホームページ管理システムをそのままDX 基盤として活用できる例を示します。</p>			
日 程	2024-09-02 (月) ~ 2024-09-04 (水) 3日間 (18h) 9:30~16:30		
受講料	78,100円 (税込)		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・Drupal が提供するWeb システムの基盤環境を理解して使いこなせるようになる。 ・CMS 上でデータ構造を定義し記録されたデータを検索する具体的な方法がわかる。 ・送信フォームと送信データの処理をノーコードで定義し独自の機能を実現する方法がわかる。 		
受講対象 及び前提知識	Web システムの内製を検討している方、Web システムのノーコード開発に興味がある方 WordPress 以外のCMS を使ってみたい方		
内 容 ※進捗状況により変更となる場合があります	1 日目	2 日目	3 日目
	導入、実習環境、コンテンツ管理 テーマとブロックシステム コンテンツのデータ構造定義 エンティティ参照	コンテンツの一覧表示 静的な抽出条件 コンテキストに基づく条件指定 フォームによる検索機能	問い合わせフォームの例 種々のフォーム定義 プラグインの利用 総合演習
担当講師	(株) シナジークエスト	PC実習あり	
備考・注意	実習環境 : Linux 仮想環境、Docker		

コース名	 Power Platform による ローコード AI アプリ開発入門		UA201
<p>この研修では、まず、Power Automate と Power Apps の基本について学びます。そのうえで、AI Builder を利用し、学習済みの AI モデルの使い方を学び、簡易な AI アプリの開発に挑戦します。この研修を受講することで、AI の機能を活用するローコードアプリ開発の理解を深め、実際の業務改善に役立てるためのヒントを得ることが期待できます。</p>			
日程	2024-09-09 (月) ~ 2024-09-10 (火) 2 日間(12 時間) 9:30~16:30		
受講料	55,000円 (税込)		
到達目標	Power Automate と Power Apps について理解できるようになる AI Builder を利用し、画像認識や文字認識 (OCR) などの AI モデルの使い方を理解し、簡易な AI アプリの開発ができるようになる		
受講対象 及び前提知識	Power Platform や AI を活用して業務改善に役立てたい方 なんらかのプログラミング経験者		
内 容 ※進捗状況により変更と なる場合があります。	1日目	2日目	
	Power Platform の概要、開発・実行環境の構築、Power Automate によるプロセス自動化の基本、Power Apps によるアプリ開発の基本	AI Builder の利用、AI モデルの種別 Power Automate 上での利用、Power Apps 上での利用、自作 AI アプリの開発	
担当講師	株式会社イワテシガ 田中 充		PC実習あり 

(5) スマホアプリ開発

コース名	Flutter アプリ開発演習		TE110
<p>Android アプリ、iOS アプリを開発できるクロスプラットフォームアプリ開発フレームワーク Google の Flutter の開発演習の基本が学べます。Flutter は、迅速開発、表現力豊かで柔軟な UI、高速動作を挙げられます。当初モバイルアプリに限定した UI ツールキットでしたが Web アプリやデスクトップアプリもサポートされつつあり、共通のコードを用いて多様な OS 上で動作するアプリを開発できます。本研修では、演習・実習を通して、開発言語である Dart の基本文法と Flutter によるアプリ開発の基本について理解を深めます。また、SQLite を利用したメモ帳アプリの構築を通して、簡易なデータベースアプリの開発方法を学びます。</p> <p>演習は Android のエミュレータ等で実施しますが、Android 端末をお持ちの場合は、実機での動作確認ができます。</p> <p>実習環境：Chrome、VS Code、Android Studio</p>			
日程	2 日間 12h 9:30~16:30 ※リクエストにより開催		
受講料	60,500円 (税込)		
到達目標	Flutter で用いられるプログラミング言語 Dart の文法と Flutter によるアプリ開発の基本を理解しウィジェットの開発とナビゲーションによる複数画面に遷移するアプリを開発できる		
受講対象 及び前提知識	クロスプラットフォームに対応したフレームワークによるアプリ開発方法について学びたい方 「HTML/CSS/JavaScript によるコンテンツ作成入門」受講者又は同等の知識 (HTML, CSS, JavaScript (ES6) の基本的理解) をお持ちの方		
内 容 ※進捗状況により変更と なる場合があります	1 日目	Flutter の概要、開発環境の構築 (VS Code, Android Studio, Flutter SDK) はじめての Flutter アプリの開発、Dart の基本文法	
	2 日目	ウィジェット作成の基本、イベント処理、ナビゲーション、データと状態管理 SQLite を用いたメモ帳アプリの開発	
担当講師	株式会社イワテシガ 田中 充		PC実習あり 
備考・注意	<p>◎当コースを受講希望する方は、リクエストによる開催を承ります。</p> <p>開催希望の3ヶ月前までに、kensyu@deos.co.jp宛 以下の項目をお知らせ下さい。</p> <p>・連絡先 (御社名、担当者名、メールアドレス、電話番号)、開催希望時期、受講者数</p>		


(6) 開発基盤

コース名	開発者のための Git 入門		TK010
<p>Git や構成管理の初心者を中心に、リポジトリ、ワークツリー、インデックスなどの基本用語から解説します。Git の主要操作の意味と対応コマンドを実習を通じて理解し、Git コマンドを使った基本的なバージョン管理作業ができるようになります。チーム開発に必要な、Git の基本コマンド・ブランチやマージ・Git ホスティング、Git クライアントを活用した開発フローなど、仕組みを理解した上で、擬似的なグループ演習を通じて学びます。</p>			
日程	<p>第1クール 2024-08-20 (火) ~ 2024-08-21 (水) 第2クール 2025-02-20 (木) ~ 2025-02-21 (金) 2日間 (12時間) 9:30~16:30</p>		
受講料	49,500円 (税込)		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・Git の背景となる分散型の構成管理の基本的な考え方を理解すること ・Git の主要コマンドの意味と使い方をマスターすること ・リモートリポジトリを使って複数人でファイルを管理する実際の方法と注意点を理解すること 		
受講対象 及以前知識	<p>Git をこれから学ぼうと考えている方、Git を使ってみたいが使い方がよくわからない方 使っているが仕組みを理解できていない方、仕組みはわかるが業務での運用方法がつかめ ない方、e ラーニング講座 SQT 「Linux コマンド入門」受講者または同等の知識 (Linux の操作と基本コマンド) のある方</p>		
内 容 ※併発状況により変更とな る場合があります	1 日目	<p>構成管理、Git、関連サービス、実習環境の確認 リポジトリ、作業領域、ステージング、コミット実習 ブランチ、タグ、マージ、コンフリクト、リバート、リベース、スカッ シュ、スタッシュ、Git ホスティング・Git クライアントの使い方</p>	
	2 日目	<p>リモートリポジトリ、サービスの例、GitBucket プッシュ、フェッチ、プル、git flow、プルリクエスト グループ実習：複数人によるファイル管理</p>	
担当講師	株式会社シナジークエスト		<p>PC実習あり</p> 
備考・注意	実習環境：Git for Windows、GitBucket		



「開発者のための Git 入門」参加者の声

- GIT 運用しているプロジェクトに参画したばかりだったので、
基礎から学べてよかった。

コース名	開発者のための Docker 活用入門		TKO20
Docker の初心者むけに環境構築から実際開発時に利用するときのポイントなどをあわせて解説します。座学と実際に手を動かしていただきより理解を深めていただく事で、実習後は業務に活用できるような内容で進めます。トラブルシューティングをあえて発生させて実際に解決していただくことで継続的に Docker 利用する為の注意点を習得する事ができます。			
日程	第1クール 2024-09-24 (火) ~ 2024-09-25 (水) 第2クール 2025-02-04 (火) ~ 2025-02-05 (水) 2日間 12h 9:30~16:30		
受講料	49,500円(税込)		
到達目標	WordPress 環境構築を目標に、Docker 基礎と、一連の流れを習得し、開発業務に活用できるようになる		
受講対象 及び前提知識	Docker をこれから学ぼうと考えている方、Docker を使ってみたいが使い方がよくわからない方、使っているが仕組みを理解できていない方、仕組みはわかるが業務での運用方法がつかめない方 e ラーニング講座 SQT 「Linux コマンド入門」受講者または同等の知識 (Linux の操作と基本コマンド) のある方		
内容	1日目	2日目	
	※進捗状況により変更となる場合があります	サーバ仮想化について Docker の基礎技術~Linux コンテナ~ Docker とは? Docker の基礎技術~Docker イメージ~ Docker のインストール Docker Hub からコンテナイメージの pull コンテナの起動・停止・削除 コンテナとホスト Linux との切替 Dockerfile から WordPress 環境作成 コンテナの commit	コンテナのライフサイクル 複数コンテナ Docker Compose docker-compose.yml の内容 .env ファイルの内容 Docker-compose のカスタマイズ
担当講師	株式会社シナジークエスト	PC実習あり 	
備考・注意	実習環境 : Windows, Linux 仮想環境、Docker		





「開発者のための Docker 活用入門」参加者の声


- Docker の基本知識を学んだので開発メンバーからの Docker に関する報告が少しわかるようになったと思います。


3. システム基盤構築技術

(1) データベース



コース名	データベースⅠ (SQL 編)		TD001
リレーショナルデータベースの概念の理解、SQL の SELECT 文と DML 文 (INSERT/UPDATE/DELETE) を習得します。 RDBMS 製品に依存しない内容となっています。			
日程	第1クール 2024-07-29 (月) ~ 2024-07-30 (火) 第2クール 2024-10-28 (月) ~ 2024-10-29 (火) 2日間 12h 9:30~16:30		
受講料	47,300円 (税込)		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・リレーショナルデータベースの概念が理解できる ・SQL の SELECT 文と DML 文が使用できる 		
受講対象 及び前提知識	コンピュータに関する基本的な知識を持ち、SQL をこれから学ぶ方		
内 容 ※進捗状況により変更となる場合があります	1 日目	2 日目	
	<ul style="list-style-type: none"> ・リレーショナルデータベースについて ・SELECT 文の基礎 ・SQL 関数 	<ul style="list-style-type: none"> ・集約関数 ・表の結合 ・副問合せ ・DML 文とトランザクション ・集合演算子 (オプション) ・関連副問い合わせ (オプション) 	
担当講師	(株)シーズ・ネクスト 吉川 奈予子		PC実習あり 
備考・注意	実習環境： Windows、PostgreSQL		



コース名	データベースⅡ (論理設計編)		TD002
データベースオブジェクトの作成や制約の基本を押さえて、そのオブジェクトを作成するためのデータベース設計の基本を習得します。 RDBMS 製品に依存しない内容となっています。			
日程	第1クール 2024-08-22 (木) ~ 2024-08-23 (金) 第2クール 2024-12-02 (月) ~ 2024-12-03 (火) 2日間 12h 9:30~16:30		
受講料	51,700円 (税込)		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・E-R 図の読み書き、正規化の作成、設計を元にした表の作成まで習得する 		
受講対象 及び前提知識	データベース管理者 データベースシステムの構築、管理をする予定の方 「データベースⅠ」の受講者又は同等の知識をお持ちの方 リレーショナルデータベースの仕組みを理解していること。		
内 容 ※進捗状況により変更となる場合があります	1 日目	2 日目	
	<ul style="list-style-type: none"> ・表の作成、変更、削除 ・制約の種類と作成 ・データベース設計の概要 ・E-R モデルの作成 (概念設計) 	<ul style="list-style-type: none"> ・正規化 (概念設計) ・論理設計 (非正規化) ・エンティティ定義書 (表への変換) 	
担当講師	(株)シーズ・ネクスト 吉川 奈予子		PC実習あり 
備考・注意	実習環境： Windows、PostgreSQL		

コース名	データベースⅢ (導入/運用編)		TD003
PostgreSQL をインストールし、データベースを作成します。ユーザーの作成・管理や SQL 文の実行、障害対応など習得します。○2024 年度カリキュラムから、IP アドレスを用いたクライアント・サーバー接続をおこないます。			
日 程	第1クール 2024-09-18 (水) ~ 2024-09-19 (木) 第2クール 2025-01-21 (火) ~ 2025-01-22 (水) 2日間 12h 9:30~16:30		
受講料	51,700円 (税込)		
到達目標	・PostgreSQL を使用したデータベースの作成、使用、基本的な運用ができる		
受講対象 及び前提知識	PostgreSQL について学びたい方、「OSS-DB Silver」の受験を考えている方 「データベース I」「データベース II」の受講者又は同等の知識をお持ちの方		
内 容 ※進捗状況により変更となる場合があります	1 日目	2 日目	
	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンソースデータベースのライセンス ・DBMS インストールと設定 ・設定ファイル(パラメータ)について ・サーバーとクライアントでのネットワーク接続 ・PostgreSQL のツール ・トランザクションの分離性について 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害に対するバックアップとリカバリ ・データの移動(COPY) ・セキュリティ管理 (認証、権限) ・運用管理 (VACUUM) 	
担当講師	(株)シーズ・ネクスト 吉川 奈予子		PC実習あり 
備考・注意	実習環境： Linux、PostgreSQL		



コース名	データベースⅣ (SQL チューニング編)		TD004
統計情報を収集し、実行計画を表示しその内容について学習します。また効率のよい SELECT 文を作成するためのノウハウを習得します。 RDBMS の製品に依存しない内容も多く扱っています。			
日 程	第1クール 2024-10-07 (月) ~ 2024-10-08 (火) 第2クール 2025-02-26 (水) ~ 2025-02-27 (木) 2日間 12h 9:30~16:30		
受講料	51,700円 (税込)		
到達目標	データベース内の SQL 文のアクセス方法を理解し、また SQL 文の記述方法や索引の設定を理解することにより、より高いパフォーマンスを得ることができる。		
受講対象 及び前提知識	アプリケーション開発者、データベース管理者 「データベース I」の受講者又は同等の知識をお持ちの方		
内 容 ※進捗状況により変更となる場合があります	1 日目	2 日目	
	データベースの構造 SELECT 文の処理フロー チューニングの概要 チューニングの検討、SQL 文の記述方法 EXPLAIN 機能 実行プランの表示/読み方 索引の管理 索引を使用した実行プランの見方 索引のチューニング	表の結合 結合を使用した実行プランの見方 結合のチューニング 副問合せ 副問合せを使用した実行プランの見方 EXISTS 演算子と IN 演算子のパフォーマンス ビュー ビューを使用した実行プランの見方 CASE 式、集合演算子のチューニング	
担当講師	(株)シーズ・ネクスト 吉川 奈予子		PC実習あり 
備考・注意	◎実習環境：Windows、OracleXE		

(2) ネットワーク



コース名	ネットワークテクノロジーⅠ（基礎・セキュリティ）		TN001
<p>ネットワーク技術者が知っているべきネットワーク基礎知識とセキュリティ基礎知識を実機を用いて学習します。IP/TCP/UDPなどのネットワーク基礎知識、ネットワーク設計、トラブルシューティング技術など実際に利用する上で押さえておかなければならない知識を実機のルータを使った演習を通して身につけます。さらに暗号技術/認証技術に関する基礎知識を普段の生活や業務に関連させて理解します。</p>			
日程	2024-07-02（火）～2024-07-04（木）3日間 18h 9:30～16:30		
受講料	80,300円（税込）		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワークの基本的知識を習得しネットワークの設計ができるようになる ・ネットワーク利用者のセキュリティリスクを認識する ・ネットワークトラブルの原因を解析できるようになる ・セキュリティを保つための技術を習得し、行動と心構えを身につける 		
受講対象 及び前提知識	入社2～3年目までのエンジニアで、システム構築においてシステム全体的な提案・営業活動等に携わる方		
内容 ※進捗状況により変更となる場合があります	1日目	ネットワークとは、セキュリティとは、ネットワーク層プロトコル	
	2日目	ネットワーク層プロトコル、データリンク層プロトコル、トランスポート層プロトコル、暗号技術と認証技術	
	3日目	暗号技術と認証技術、アプリケーション層プロトコルとセキュリティ	
担当講師	セイ・コンサルティング・グループ(株) 山田 篤彦	PC 実習あり 	演習あり 
備考・注意			



コース名	ネットワークテクノロジーⅡ （デモ環境で学ぶLAN/WAN 設計 基礎編）		TN002
<p>適切な LAN/WAN 設計を行うためには、使用する機能の特徴や適用ポイントを理解しておくことが大切です。このコースでは、ネットワーク設計の手順と各設計フェーズで押さえておくべき機能を、講義とグループ演習を通じて理解していただきます。さらに、実機によるデモ環境を見ていただくことで、具体的なネットワークの構成イメージも持っていただくことができます。設計フェーズの業務をこれから担当する方、および設計の基礎や LAN/WAN 技術の具体的なイメージを持ちたい方にも最適なコースです。</p>			
日程	2024-10-15（火）～2024-10-16（水）2日間 12h 9:30～16:30		
受講料	62,700円（税込）		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク設計の手順と考慮点を理解する。 ・ネットワーク設計に必要な技術を理解する。 ・LAN/WAN 設計時に適用すべき機能とポイントを理解する。 		
受講対象 及び前提知識	ネットワーク設計担当予定の方、ネットワーク設計初級担当者、又はユーザ企業システム部門のネットワーク担当者の方 「ネットワークテクノロジーⅠ（基礎・セキュリティ）」の受講者又は同等の知識をお持ちの方		
内容 ※進捗状況により変更となる場合があります。	1日目	ネットワーク設計の流れ（要件定義演習）、レイヤ2 LAN 設計 レイヤ3 LAN 設計	
	2日目	レイヤ3 LAN 設計（レイヤ3設計演習）、拠点間接続の設計	
担当講師	ITトレーニング・インストラクター 大竹口 隆	デモあり 	演習あり 

コース名	ネットワークテクノロジーⅢ (実機で学ぶ 中小規模 LAN 構築編)		TN003
このコースでは、L2/L3 スイッチをひとり1台の環境で使用していただき、中小規模 LAN 環境構築に必要な技術を学んでいただけます。クライアント PC から L2/L3 スイッチに至る LAN 環境を実際に構築しながら、業務に必要な技術を実習を通じて理解していただけます。実習では、Cisco 社の L2/L3 スイッチを使用します。初めての方も参加いただけるように基本操作からご説明し、手順書に沿って実習をしていただけます。			
日程	2024-11-07 (木) ~ 2024-11-08 (金) 2日間 (12時間) 9:30~16:30		
受講料	62,700円 (税込)		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・中小規模 LAN 環境に必要な技術を理解する。 ・中小規模 LAN 環境を実際に構築できるようになる。 ・レイヤ2およびレイヤ3における冗長化機能を理解する。 		
受講対象 及び前提知識	ネットワーク構築担当またはこれから担当予定の方、ユーザ企業システム部門のネットワーク担当者の方、または、外部に構築を依頼するシステム担当者の方。 ネットワークテクノロジー I (基礎・セキュリティ) 受講者又は同等の知識をお持ちの方		
内容 ※進捗状況により変更とな る場合があります。	1日目	LAN 構築に必要な技術、LAN スイッチ基本設定、トランク制御	
	2日目	ルーティング基礎、デフォルトゲートウェイの冗長化	



コース名	ネットワークテクノロジーⅣ (実機で学ぶ 大規模 LAN WAN 構築編)		TN032
このコースでは、大規模な LAN WAN ネットワークに必要な機能を実習を通じて理解していただけます。 <ul style="list-style-type: none"> ・レイヤ2環境：高速 STP、リンクアグリゲーションによる帯域拡大、スタッキングなどの大規模環境で有効な技術を学びます。 ・レイヤ3環境：大規模環境で使用される OSPF、経路情報やデータトラフィック制御によるセキュリティ向上で有効な技術を学びます。 ・WAN 環境：VPN 機能を理解していただき安全な WAN 環境が構築できることを目指します。 技術的な前提知識をお持ちの方を対象にしていますが、ネットワーク機器操作が初めての方も、参加いただけるよう基本操作も最初にご説明いたします。 実習では、Cisco 社の L3 スイッチをひとり1台環境で実習いたします。			
日程	2024-12-11 (水) ~ 2024-12-13 (金) 3日間 (18時間) 9:30~16:30		
受講料	86,900円 (税込)		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模ネットワーク環境に必要な技術を理解する。 ・大規模 LAN WAN 環境を実際に構築できるようになる。 ・セキュアな大規模 LAN WAN 環境に必要な機能を理解する。 		
受講対象 及び前提知識	ネットワーク構築担当またはこれから担当予定の方。 ユーザ企業システム部門のネットワーク担当者の方。 外部に構築を依頼するシステム担当者の方 ネットワークテクノロジー I (基礎・セキュリティ) を受講者又は同等の知識をお持ちの方 ネットワークテクノロジー III (実機で学ぶ 中小規模 LAN 構築編) を受講済であると望ましいが必須ではありません。		
内容 ※進捗状況により変更とな る場合があります。	1日目	LAN 構築に必要な技術 (復習)、大規模 LAN 環境に必要な機能	
	2日目	大規模ルーティング環境に必要な機能	
	3日目	大規模ルーティング環境に必要な機能、インターネット環境との接続	
担当講師	IT トレーニング・インストラクター 大竹口 隆		PC 実習あり  演習あり 



(3) セキュリティ



コース名	攻撃手法から学ぶセキュリティ対策		TS002
<p>企業において働き方の多様化の主要な役割を担うものとして「リモートワーク」は大きな注目を集めています。しかし、不十分なセキュリティ対策のまま VPN やリモートアクセスを運用することによるセキュリティ被害の増加も報告されています。</p> <p>不正アクセス攻撃の仕組みを実機を通して体験し、その技術的背景を踏み込んで理解し、脅威について適切な理解をするとともに、対策方法とその限界、さらに被害にあった場合の対処方法について学習します。</p>			
日程	2025-01-27 (月) ~ 2025-01-28 (火) 2日間 12h 9:30~16:30		
受講料	60,500円 (税込)		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 不正アクセス攻撃の具体的な技術を理解する 不正アクセス攻撃に対する対策の効果と限界を理解する 不正アクセス攻撃を体験し、その脅威を正確に理解する 		
受講対象 及び前提知識	ネットワークセキュリティ技術者 「ネットワークテクノロジー I (基礎・セキュリティ)」受講者又は同等の知識をお持ちの方		
内容 ※進捗状況により変更となる場合があります。	1日目	2日目	
	プロファイリング、侵入	DoS攻撃、侵入調査、不正アクセスに備える、 Web サーバーのセキュリティ対策 DNS サーバーのセキュリティ対策	
担当講師	セイ・コンサルティング・グループ(株) 山田 篤彦	PC 実習あり 	演習あり 
備考・注意	旧「ネットワークセキュリティ (不正アクセス編)」と内容は同じです。		

コース名	ファイアウォールで学ぶネットワークセキュリティ ＝ リモートワーク時代のセキュリティ ＝		TS003
<p>リモートワークを導入することによって企業のネットワークセキュリティは脅威と脆弱性の見直しが必要となります。この研修ではファイアウォールを中心として、さまざまなネットワークサービスのセキュリティ課題とその対策技術を学習します。</p> <p>ファイアウォールのルール設計の演習によりセキュリティ設計の知識を身につけ、実機を設定する演習によりネットワークとセキュリティのスキルを高めます。</p>			
日程	2024-12-02 (月) ~ 2024-12-04 (水) 3日間 18h 9:30~16:30		
受講料	80,300円 (税込)		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ファイアウォールのパケットフィルタリング動作とそのルール設計・構築スキルを身につける リモートアクセス VPN の仕組みと、その運用における注意点を理解する 代表的なネットワークサービスのセキュリティ課題とその対策をネットワークの視点から理解する 		
受講対象 及び前提知識	ネットワーク運用管理者/ネットワーク設計者で、「ネットワークテクノロジー I (基礎・セキュリティ)」の受講者又は同等の知識をお持ちの方		
内容 ※進捗状況により変更となる場合があります。	1日目	2日目	3日目
	最新セキュリティ事情 社内のネットワーク設計 ファイアウォール	ファイアウォール Web サービスのセキュリティ メールサービスのセキュリティ	VPN リモートアクセス VPN ファイアウォール総合演習
担当講師	セイ・コンサルティング・グループ(株) 山田 篤彦	PC 実習あり 	演習あり 

(4) サーバ/OS

コース名	Windows Server 基本管理		TW001
Windows Server を基礎から学びたい方を対象に、Windows Server を使用する上で基本となるユーザー管理、ディスク管理、アクセス権管理について学習します。Active Directory ドメインサービスについても基本的な構成や概念をご紹介します。演習はHyper-Vにより簡易的な検証環境を構築し進めます。			
日程	2024-09-19 (木) ~ 2024-09-20 (金) 2日間 12h 9:30~16:30		
受講料	60,500円 (税込)		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> Windows Server をイントラネット内のファイルサーバとして構成し、適切に管理できる Active Directory ドメインサービスの機能概要を把握し、基本的な構成ができる 		
受講対象 及び前提知識	Windows Server の基礎を学びたい方 TCP/IP 基礎知識 (IP アドレス、DNS 等) 及びWindowsOS の基本的な操作スキルのある方		
内 容 ※進捗状況により変更となる 場合があります。	1 日目	2 日目	
	<ul style="list-style-type: none"> Windows Server の基礎知識 Hyper-V の概要 Windows Server の導入 Active Directory ドメインサービスの導入 	<ul style="list-style-type: none"> ユーザー管理 ディスク管理 ファイル共有とアクセス許可 	
担当講師	デバイドコンカー 部坂 征司	PC実習あり 	演習あり 
備考・注意	実習環境:Windows Server2022		



コース名	開発者のためのシェルスクリプト入門		TLO10
bash を使う上でポイントとなる仕組みや内部コマンドを整理することができます。 bash と内部/外部コマンドを組み合わせる種々の処理を自動化するスクリプトを書けるようになります。 他の人の書いたシェルスクリプトを読んで内容を理解できるようになります。			
日程	2024-07-25 (木) ~ 2024-07-26 (金) 2日間(12時間) 9:30-16:30		
受講料	51,700円 (税込)		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> bash の基本文法をマスターすること 複数のコマンドを組み合わせた処理を自動化するスクリプトを記述できるようになること 既存の bash スクリプトを読んで内容を理解できる、またはその足掛りが得られるようになること 		
受講対象 及び前提知識	bash でスクリプトを書けるようになりたい方/定型処理を自動化する方法を知りたい方 【eラーニング】Linux コマンド入門受講者または同等の知識 (Linux の操作と基本コマンド) のあり、何らかのプログラミング言語経験のある方		
内 容 ※進捗状況により変更となる 場合があります。	1 日目	2 日目	
	シェルと bash、シェルスクリプト シェル変数の使い方 文字列処理、算術式と条件式 複合コマンドと流れ制御 シェル関数	内部コマンドの利用 パラメータと値の受け渡し 式の展開と評価 開発実務でよく使うコマンドと処理例 課題演習	
担当講師	株式会社シナジークエスト	PC実習あり 	演習あり 
備考・注意	実習環境:Vagrant、VirtualBox、Ubuntu		



コース名	Linux システム管理		TL020
Linux システムの日常的な管理項目として、ユーザー/グループアカウント管理、ネットワーク構成管理、サービスやファイルシステムの管理を学習するとともに、システムのメンテナンスに使用する一般的なコマンド等についても学習します。			
日 程	2024-11-12 (火) ~ 2024-11-13 (水) 2日間 12h 9:30~16:30		
受講料	55,000円 (税込)		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> Linux システム管理者としての日常的な管理項目を理解し実践できる システムの保守およびトラブル発生時の対処に使うべきコマンドやツールを把握できる 		
受講対象 及び前提知識	TCP/IP 基礎知識 (IP アドレス、DNS 等) があり Linux のコマンドライン操作をしたことがある、または Windows コマンドプロンプト操作を支障なく行える方 ※Linux コマンドを学びたい方は【eラーニング】Linux コマンド入門をおすすめします		
内 容 ※進捗状況により変更となる場合があります。	1 日目	2 日目	
	<ul style="list-style-type: none"> Linux の概要 Linux のインストール 基本的なコマンド vi エディタ ユーザーとグループの管理 	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークの管理 サービスの管理 ファイルシステムの管理 システムのメンテナンス 	
担当講師	デバイド・コンカー 部坂 征司	PC実習あり 	演習あり 
備考・注意	実習環境 : Alma Linux		



(5) クラウド



コース名	クラウドサービス入門		TC030
<p>クラウドサービスの概念と用語を確認するとともに、クラウドサービスを実現する技術や、主要なクラウドサービスプロバイダーについても概要をご紹介します。</p> <p>クラウドサービスを実現するための重要な要素技術であるサーバー仮想化を体験する実習や、講師によるデモも盛り込んでおります。(CompTIA Cloud Essentials+相当の内容となります)</p>			
日程	2024-09-17 (火) ~ 2024-09-18 (水) 2日間 12h 9:30~16:30		
受講料	57,200円(税込)		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・クラウドの概念と用語を理解し、説明できる ・主要なクラウドサービスプロバイダーを列挙できる ・クラウドサービスの導入に際し、適切なサービスモデルの選定ができる 		
受講対象 及び前提知識	クラウドサービスと技術の概要を幅広く学びたい方 WindowsOSの基本的な操作スキルとTCP/IP基礎知識(IPアドレス、DNS等)がある方		
内容 ※進捗状況により変更となる場合があります。	1日目	2日目	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラウドの特徴 ・クラウドを実現する技術 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラウドサービスプロバイダー ・クラウドサービスの導入 ・クラウドのリスクと影響 	
担当講師	デバイド・コンカー 部坂 征司	PC実習あり	演習あり
備考・注意	実習環境: Microsoft Azure クラウドサービスの体験は、講師が用意した環境上で実施します。		




コース名	クラウドセキュリティ基礎		TC031
<p>クラウドの利用者や管理者がクラウド利用時に気にしてほしいセキュリティの基礎部分を学びます。特に、利用開始時の認証に焦点を当てたシングルサインオンの重要性について学びます。また、クラウド選定時の気にすべきセキュリティ事項も確認をして、クラウド選定の材料と出来るようにします。※多要素認証演習でSMS(ショートメール等)を利用するため可能であればメッセージを受信できる携帯電話をお持ちください。</p>			
日程	2024-08-06 (火) ~ 2024-08-07 (水) 2日間 12h 9:30~16:30		
受講料	77,000円(税込)		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・クラウドセキュリティの重要性を理解する ・クラウド利用時の注意点を理解し実践できる ・クラウドセキュリティの実践(多要素認証) ・クラウド管理者が気にすべきセキュリティのポイントを理解する 		
受講対象 及び前提知識	クラウドのセキュリティに携わる方全般、クラウドの利用者、管理者 WindowsOSの基本的な操作スキルとクラウドサービスの利用経験のある方 ※クラウドサービス Microsoft365 や Azure の利用経験があるとなおよい		
内容 ※進捗状況により変更となる場合があります。	1日目	2日目	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラウドセキュリティの重要性 ・マルチクラウド ・選定時のポイント ・認証と認可 	<ul style="list-style-type: none"> ・演習 SSOの確認とポリシー制御 ・多要素認証 ・演習 多要素認証 ・ゼロトラストアーキテクチャ(ゼロトラストセキュリティ・ゼロトラストネットワーク) 	
担当講師	エルボスケ株式会社 神谷 正	PC実習あり	演習あり
備考・注意	実習環境: Windows、Microsoft Azure		

コース名	NEW クラウドを利用したセキュリティの管理		TC033
ICT 環境のエンドポイントセキュリティに主眼を当て、セキュリティの理解を深めます。また、インシデントレスポンスに必要な不可欠であるログ取得と分析を学習します。 特に、クラウドセキュリティの理解を深めるために、具体的なクラウド上に集積されたセキュリティログの確認をする方法を学習します。また、実際のログを分析を行い、分析方法のポイントや確認方法を体験します。			
日程	2024-11-19 (火) ~ 2024-11-20 (水) 2日間 12h 9:30~16:30		
受講料	154,000円 (税込)		
到達目標	クラウドを利用したセキュリティ管理の重要性の理解 クラウドを利用したインシデントレスポンスの為の情報収集 SIME を利用した情報収集方法の体験とポイントの理解		
受講対象 及び前提知識	セキュリティ管理者、クラウドセキュリティの管理者 「クラウドセキュリティ基礎」受講者又は同等の知識のある方 セキュリティの基礎知識及びクラウド管理の経験のある方		
内容 ※進捗状況により変更となる場合があります。	1日目	2日目	
	<ul style="list-style-type: none"> ・エンドポイントセキュリティの理解 ・インシデントレスポンスの基礎 ・ログの基本的な確認方法 	<ul style="list-style-type: none"> ・演習 ログ分析の基本 ・演習 ログ分析から問題点の分析 ・演習 ログ分析から今後の対応策のまとめ 	
担当講師	エルボスケ株式会社 神谷 正	PC実習あり 	演習あり 
備考・注意	実習環境 : Microsoft Azure、Microsoft365		

コース名	認証基盤の統合とクラウド化		TC032
クラウドバイデフォルト時代に求められる、認証基盤の統合とクラウド化について、オンプレミスの認証基盤として用いられることの多い Active Directory の移行をテーマとしてご紹介します。 クラウドネイティブの認証基盤として Microsoft Entra ID を中心として確認するとともに、複数の移行パターンのメリット、デメリットについてもご紹介します。			
日程	2024-11-14 (木) ~ 2024-11-15 (金) 2日間 12h 9:30~16:30		
受講料	110,000円 (税込)		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・認証基盤の役割と重要性を説明できる ・Azure Active Directory の概要を説明できる ・認証基盤の統合とクラウド化について、適切なパターンを選択できる 		
受講対象 及び前提知識	認証基盤の統合・クラウド化をご検討中の方 <ul style="list-style-type: none"> ・TCP/IP 基礎知識 (IP アドレス、DNS 等) ・WindowsOS の基本的な操作スキル ・Active Directory ドメインサービスの概要理解 ※前提コースとして「Windows Server 基本管理」の受講をお勧めします		
内容 ※進捗状況により変更となる場合があります。	1日目	2日目	
	<ul style="list-style-type: none"> ・認証基盤の概要 ・Azure Active Directory の概要 ・Azure AD のユーザ管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・Azure AD のデバイス管理 ・Microsoft Azure の関連サービス ・オンプレミス認証基盤のクラウド移行パターン 	
担当講師	デバイド・コンカー 部坂 征司	PC実習あり 	演習あり 
備考・注意	実習環境 : Microsoft Azure クラウドサービスの体験は、講師が用意した環境上で実施します。		


コース名	AWS で学ぶネットワークと TCP/IP の基礎		TC040
AWS やクラウドサービスを初めて使う方に最適な導入コースです。VPC、EC2、NAT といった AWS の基本サービスによるブログサイト構築を通じて、実際に手を動かしながらネットワークとプロトコルの基礎知識を習得できます。演習では、類似のインフラ構成で別のサイト構築に取り組むことで、実習で学んだ知識を定着します。			
日程	2024-08-27 (火) ~ 2024-08-28 (水) 2日間 12h 9:30~16:30		
受講料	60,500円 (税込)		
到達目標	TCP/IP の知識に基づいてインフラ構成要素の設定ができるようになる。 AWS の VPC、EC2、サブネット、ルータ、NAT などを使用して簡単なサーバ/ネットワークを構築できるようになる。		
受講対象 及び前提知識	新入社員 (技術系)、AWS やクラウドサービスを初めて使う方、ネットワークと TCP/IP の知識を身に付けたい方、e-ラーニング「Linux コマンド入門」受講者または同等の知識 (Linux の操作と基本コマンド) をお持ちの方		
内容 ※進捗状況により変更となる場合があります。	1 日目	2 日目	
	クラウド、AWS、基本用語の整理 VPC の構築、IP アドレス サブネット分割、ルーティング サーバ構築、SSH 接続、ファイアウォール Web サーバの導入、HTTP の動作確認	プライベートサブネット、踏み台の利用 NAT ゲートウェイの利用 DB サーバの導入、ブログ構築 課題演習	
担当講師	(株) シナジークエスト	PC実習あり 	演習あり 
備考・注意	演習は、講師が用意した AWS 環境を利用して演習を進めます。		

コース名	AWS によるサーバレスシステム構築演習		TC060
PC を用いたハンズオン研修です。世界的にクラウドサービスの利用が広がり、自身でサーバを管理しない「サーバレス」なシステム構築が主流となっています。 本講座では Amazon が提供するクラウドサービス「AWS」を使用して、AWS の基礎から主要なサービス、システム構築や運用の留意点を学び、演習を通じてゼロからサーバレス Web アプリケーションを構築します。			
日程	2024-10-03 (木) ~ 2024-10-04 (金) 2日間 12h 9:30~16:30		
受講料	66,000円 (税込)		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ AWS の主要なサービスと使い方を習得すること ・ AWS を活用してサーバレスアプリケーションを構築できること 		
受講対象 及び前提知識	クラウドエンジニアを目指す方 AWS の利用方法を学習したい方 ノーコード開発基本ですが、AWS のサーバレスに必要なコードはサンプルをお渡ししますので、コードが書けない方も参加可能です。		
内容 ※進捗状況により変更となる場合があります。	1 日目	2 日目	
	1. AWS 概要 2. 仮想サーバ・ストレージ・DB 3. 運用・監視・セキュリティ	4. サーバレス Web アプリケーションの構築演習 (静的サイト) 5. サーバレス Web アプリケーションの構築演習 (WebAPI)	
担当講師	TITC 合同会社 富田良治	PC実習あり 	演習あり 
備考・注意	演習は、講師が用意した AWS 環境を利用して演習を進めます。		

コース名	 AWS で学ぶクラウドネットワーク設計と構築		TC050
<p>このコースでは、クラウドネットワークに必要な機能を適切に選択して設計、AWS 環境で実際に仮想ネットワークを構築ができるようになることを目指します。さらに、冗長化を実現するためのマルチリージョンやAZ、ディザスタリカバリ環境を理解していただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラウド環境の理解：仮想化技術の復習からクラウド特性の理解、仮想サーバーを実際に作成してサーバー冗長化機能を理解します。 ・クラウドネットワーク環境の理解：クラウドネットワークの構成を理解した上で、適切なサービスが選択できることを目指します。ネットワーク間接続、従来環境（オンプレミス）との接続やインターネット経由でのアクセス機能を理解します。 ・冗長化：マルチリージョン、アベイラビリティゾーンなど、基本的な冗長化技術を理解した上で、BCP 計画に基づいたディザスタリカバリ環境まで検討できることを目指します。 <p>TCP/IP 基礎を前提としておりますが、クラウド操作が初めての方も参加いただけるように、操作手順書にもとづいて演習を進めます。</p>			
日程	2024-9-26（木）～2024-9-27（金） 2日間12h 9:30～16:30		
受講料	66,000円（税込）		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・クラウドネットワーク環境を理解した上で、必要なサービス設計ができるようになる。 ・仮想サーバー環境での、ネットワーク設計と構築ができるようになる。 ・冗長化仮想ネットワークの設計と構築ができるようになる。 		
受講対象 及び前提知識	<p>クラウドネットワーク設計担当予定の方、クラウドネットワーク構築初級担当者、又はユーザ企業システム部門や外部に設計構築を依頼するシステム担当者の方。</p> <p>「AWS で学ぶネットワークと TCP/IP の基礎」を受講、又は AWS や TCP/IP に関する同等の知識をお持ちの方</p>		
内容 ※進捗状況により変更となる場合があります。	1日目	2日目	
	<p>1. クラウドコンピューティングとは（復習）</p> <p>2. 仮想マシン冗長化の基礎 仮想サーバーの作成とアクセス、Elastic IP アドレス、仮想サーバにおける冗長化、データバックアップ概要 ～ スナップショット (演習) 仮想サーバーの生成</p> <p>3. クラウドネットワークの設計と構成</p>	<p>4. クラウドネットワークによる冗長化 目標復旧時点 (RPO) と目標復旧時間 (RTO)、マルチリージョンによる冗長化、アベイラビリティゾーン (AZ) による冗長化 (デモ) AZ による冗長化他</p> <p>5. 地理的冗長化概要 事業継続計画 (BCP)、ディザスタリカバリ (災害復旧) とは、ディザスタリカバリの手法</p>	
担当講師	IT トレーニング・インストラクター 大竹口 隆	PC 実習あり 	演習あり 
備考・注意	演習は、講師が用意した AWS 環境を利用して演習を進めます。		

4. 上流工程・テスト

(1) ビジネス変革


コース名	デジタル(DX)時代の 事例から学ぶビジネス価値提案		STO10
デジタル時代において、IT エンジニアは、プロジェクト以前に、顧客（ユーザ部門）とともに、新しいビジネスモデルを構想し、変革することが求められています。働き方改革がなかなか「改善」の域から出られないように、要求にこたえる価値提案を行うためには、本質的な課題に向き合う必要があります。そうしたビジネスモデルの価値を多くの事例から考えることにより、ビジネスの本質に迫る発想と、見える化するスキルを習得するコースです。			
日程	2024-09-12（木）～ 2024-09-13（金） 2日間 12h 9:30～16:30		
受講料	66,000円（税込）		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> デジタルトランスフォーメーション（DX）の時代に必要とされる「顧客に寄り添うビジネス価値提案」ができるようになる。 イノベーションを起こすプロジェクト企画時に、ビジネスモデルと必要な要素を含んだプランが作成できるようになる。 		
受講対象 及び前提知識	DXを推進する部門においてリーダー、マネージャの役割を担っている、または将来プロジェクトを担う方、デジタル推進部門の方、DX時代の提案を担う方 プロジェクトマネジメントの基礎知識。 ビジネス上の経験が1年以上あることが望ましい。		
内 容 ※個別状況により変更となる場合があります。	1日目	2日目	
	1. デジタルトランスフォーメーション(DX)時代の価値を考える <ul style="list-style-type: none"> 事例からビジネスモデルを考える（デジタル事例の紹介） 顧客視点からビジネス上の価値を考える 2. ステークホルダと価値の分析 [質問力演習] 顧客視点のヒヤリング [ステークホルダの価値分析] <実践ワークショップ>：価値から考える カスタマジャーニーマップ作成、バリュープロポジション・キャンバス作成	3. 超上流工程の考え方（案件・プロジェクト企画） <ul style="list-style-type: none"> ポートフォリオ・プログラム・プロジェクト デザイン思考的発想 ～未知へのチャレンジプロジェクト IT組織としての方向性 データからの価値創出 4. ビジネスモデルの見える化 <ul style="list-style-type: none"> ビジネスモデルの分析 複数テーマの分析（優先度、変更管理） エンタープライズアナリシス <実践ワークショップ>： [価値の分析]：バリュープロポジション・キャンバスからビジネスモデル・キャンバスへ	
担当講師	(有) ボランチ21 大橋 知子 PMP®		演習あり 
備考・注意	12PDU's PMI タレント・トライアングル：働き方1、パワースキル4、ビジネス感覚7		




「デジタル(DX)時代の事例から学ぶビジネス価値提案」参加者の声

- 期待より多くのことを学びました。DXの考え方は理解できました。

大変満足できる研修でした


コース名	デジタル(DX)時代の 業務のデジタルシフトへの考え方・進め方 ＝ サービスデザインを踏まえた要件定義 ＝		STO11
<p>デジタルの時代では、人を中心に考えて、オンラインで業務が完結します。 この研修では、その本質的な考え方、本質的な違い、注意点を理解し、既存業務をスムーズにデジタルにシフトするための進め方を習得することができます。 デジタルシフトとは、ツールを導入することではなく、組織の一人一人が自分事として、自律的に仕事をするというマインドセットと合わせて変えていく必要があることも、ワークショップを通じて楽しく学べます。</p>			
日 程	2025-01-28 (火) ～ 2025-01-29 (水) 2日間 12h 9:30～16:30		
受講料	66,000円 (税込)		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル化に際し、これからの業務のやり方を見える化できるようになる。 ・本質的にやりたいことを整理して、価値を表す要件を定義できるようになる。 ・使う人(顧客)目線で、デザインできるようになる。 		
受講対象 及び前提知識	デジタル対応と言われてクラウドサービス活用のために業務要件を定義することになった情報部門の方、デジタル推進部の方 要件定義をゼロから学びたい方		
内 容 ※個別状況により変更となる場合があります。	1 日目	2 日目	
	0. デジタルの時代とは 1. DX時代のビジネス価値 (デジタル時代の仕事) ・ビジネスモデルの変化とワークシフト ～ビジネス常識が変わってきた! ・求められるスピード感 2. 業務の見える化ではなく、人間中心に考える要件定義 ・デジタルで完結するビジネスプロセスを人間中心に考える ・価値の見える化 ・全体から考える(全体最適) ・ユーザ主体のストーリー (要件) の定義 ～なぜから考える・習慣化 <実践ワークショップ: ビジネスの分析> ・引出しワークショップのファシリテーションスキル ・ジャーニーからデータを抽出 (引出し・ワークショップ)	3. 変化に強いモデリング ・複数テーマの分析 (優先度、変更管理) ・ビジネス分析とプロジェクトの関係 ・文書ではなく”データ”から本質的に必要なことを見える化～アプリの民主化・データの民主化 ・データは社外からも持ってくる ・テストファーストの考え方 ・機能の要件定義と非機能の要件定義 ～本当に使いやすいか? (使いにくいのは生産性を落とす) ・自分たちでどこまでやるか、外に依頼するか (外部委託のポイント) 4. 現場の変革 ・作ると使う (開発と運用) はセット ・立ちはだかる壁 ・将来的にビジネス変化とともに必ず変更する～マニュアルは、最初しか見ない ・他の業務への影響を分析する～後工程はお客様 ・ツールに頼る”落とし穴” [導入前の確認事項] ストーリーのレビュー (ワークショップ) ◎まとめ / 現場での実践にむけて	
担当講師	(有) ボランチ21 大橋 知子 PMP®		演習あり 
備考・注意	12PDU's PMI タレント・トライアングル: 働き方1、パワースキル4、ビジネス感覚7		

コース名	エンジニアのためのデザイン思考入門		STO21
<p>スタンフォード大学やデザインコンサルティング会社 IDEO が提唱する「デザイン思考」は、デザイナーだけでなく、ビジネスパーソンやエンジニアも身につけるべき基本的なスキルとなってきました。</p> <p>本コースでは、東京工業大学エンジニアリングデザインプロジェクトが執筆した『エンジニアのためのデザイン思考入門』を使いながら、革新的な思考法を学びます。</p>			
日程	2024-10-21 (月) ~ 2024-10-22 (火) 2日間 12h 9:30~16:30		
受講料	66,000円 (税込)		
到達目標	解決する価値のある課題を発見するために、デザイン思考の手法を習得し、新しい発想からイノベーションのヒントを創造する。		
受講対象 及び前提知識	デザイン思考について知りたい方（エンジニア以外でも構いません）、新規事業開発の担当者		
内容 ※進捗状況により変更となる場合があります。	1日目	2日目	
	<ul style="list-style-type: none"> ・デザイン思考とは何か ・インタビューの練習 ・POV の作成 ・発想を刺激する「問い」を作る ・アイデア発想 	<ul style="list-style-type: none"> ・プロトタイプ ・テスト ・デザイン思考の導入 ・リーンスタートアップとの接続 	
担当講師	ワイクル株式会社 角 征典	演習あり 	
備考・注意			






「エンジニアのためのデザイン思考入門」参加者の声

- 今までの型にはまった考え方を見つめ直せる内容でした。デザイン思考は多くの場面で取り入れられる内容だと思われまます。
- 普段、図に描いて表したり、会話して要望を汲み取るということをしていないので、今回の研修で得たインタビューの方法は、今後活用できると思います。
特に話すことが苦手なので今回の演習で体験できて良かったです。
- デザイン思考はどのようなものなのかよくわからないまま受講しましたが、非常に興味深い内容でした。現在の業務にすぐに生きる内容ではなかったのですが、考え方、トライ＆エラーのやり方等内部プレゼンに活かせる点もあると思いました。


コース名	DX リテラシー研修		XS410
<p>「オンライン (Zoom)」開催研修です。</p> <p>DX はいわゆるバズワードであり、組織や個人によってもその意味や理解に食い違いが起きています。この研修では、そもそもDXとは何かをしっかりと理解していただき、実現するために不可欠なテクノロジーや、従来のビジネスとは異なる進め方や個人が取り組む上でのマインドやスタンスについて講義とグループディスカッションで理解を深めていただきます。※DX リテラシー標準対応。ただし2023年8月改訂版「生成AI」を除く。</p> <p>◎オンラインホワイトボードMuralを活用し、ワークを行います。 ZoomとMural (オンラインホワイトボード)、ブラウザChrome/Edge /Safari 動作可能なPCとネットワーク環境をご用意ください。</p>			
日程	2日間 12h 9:30~16:30 ※リクエストにより開催		
受講料	55,000円 (税込)		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・DXとは何かを理解する ・DXに必要なデジタル技術を理解する ・DXを進める方法と留意点を理解する ・DXに取り組むためのマインドとスタンスを理解する 		
受講対象 及び前提知識	経営者、管理者、リーダー、一般社員 PCの操作ができる方		
内 容	1 日目		2 日目
	DXとは何か? なぜ今DXに取り組まなければならないのか? ITとデジタルは何が違うのか? 2種類のITシステム (SoR, SoE) デジタルテクノロジーについて知る		DXとは何をすることなのか DXを進めていくステップ DXを推進する上での留意点 従来の取り組みとDXの取り組みの違い DX推進に必要な人材とは 個人や組織をどうやって成長させるか
担当講師	株式会社エディックス 枝川 峰		演習あり 
備考・注意	◎当コースを受講希望する方は、リクエストによる開催を承ります。 開催希望の3ヶ月前までに、kensyu@deos.co.jp宛以下の項目をお知らせ下さい。 ・連絡先 (御社名、担当者名、メールアドレス、電話番号)、開催希望時期、受講者数		


(2) 要件定義

コース名	DX時代の要件定義入門		MD001
<p>要件定義を成功させるポイントを効率よく整理します。要件定義をシステムティックに精度高く行う方法とその実現性を高めるためのアーキテクチャについて理解できるようになります。</p> <p>※テキストは、「ユーザのための要件定義ガイド第2版 要件定義を成功に導く128の勘どころ」を使用予定</p>			
日 程	2025-01-15 (水) 1日間 6h 9:30~16:30		
受講料	29,700円 (税込)		
到達目標	システム開発の上流工程で押さえるべきポイントを理解できるようになる 要件定義をシステムティックに精度高く行う方法とその実現性を高めるためのアーキテクチャについて理解できるようになる		
受講対象 及び前提知識	上流工程の要件定義について概要を学びたい方 システム開発の経験がありシステム開発の一般的な用語を理解している方		
内 容	導入と要件定義の全体像 ビジネス要求定義のポイント システム化要求定義のポイント	要件定義マネジメントのポイント 要件定義ドキュメント作成のポイント	
担当講師	(株)シナジークエスト		演習あり 
備考・注意			


コース名	DX時代の要件定義演習		MD002
<p>演習を通じて、価値/要求から業務設計を経てシステム化の要件を決めていくシステムティックな要件定義を実践できます。新たな変革や変化を伴うDX時代の要求を、高い精度で網羅的にシステム要件に反映する手法を学ぶことができます。</p> <p>※テキストは、「RDRA2.0 ハンドブック」を使用予定</p>			
日 程	2025-01-16 (木) ~ 2025-01-17 (金)2日間 12h 9:30~16:30		
受講料	51,700円 (税込)		
到達目標	ビジネス価値をもたらす要求を、精度よく網羅的にシステム化要件に落とし込む手法を習得する。		
受講対象 及び前提知識	実践的な要件定義の手法を学びたい方 DXのように業務変革に伴う新たな価値を、要件に落とし込む手法を知りたい方 システム開発の経験がありシステム開発の一般的な用語を理解している方		
内 容	1日目 演習題材の説明 ビジネスコンセプト、ステークホルダ 要求の分析、データモデル ビジネスプロセス、相互作用モデル 網羅性の確認	2日目 インターフェイスの確認と実現性の検証 機能とデータとの整合性を検証する 非機能要求について ビジネス要求の変化への対応	
担当講師	(株)シナジークエスト	PC実習あり	演習あり 
備考・注意			


(3) テスト



コース名	テストエンジニア研修		MD010
ソフトウェアテストの目的や全体像を把握したうえで、基本的なテスト技法のポイント、開発全体における実施タイミングなどを解説と一部演習を交えて習得します。			
日程	2024-07-22 (月) ~ 2024-07-23 (火) 2日間 12h 9:30~16:30		
受講料	51,700円 (税込)		
到達目標	ソフトウェアテストの目的や全体像を把握する。基本的なテスト技法のポイント、開発全体における実施タイミングなどを習得する		
受講対象 及び前提知識	初級～中級レベルの技術者を想定 IT関連の開発・保守業務に携わっていて、テスト実施経験はあるが、体系的にテスト設計を学んだことがない技術者		
内 容 ※進捗状況により変更となる場合があります。	1日目	2日目	
	テストの目的とソフトウェア開発の現状 ・テストの全体像とテスト運営 ・テスト設計 ・テスト技法 同値クラス、境界値テスト、制御パステスト、データフローパステスト、デシジョンテーブルテスト	テスト技法 (続き)、 状態遷移テスト、全ペアテスト、ユースケーステスト、システムテスト、シナリオテスト、性能テスト、負荷テスト、回帰テスト、Webアプリのセキュリティテスト、経験ベースのテスト技法 ・不具合管理 ・サマリ	
担当講師	NPO 法人ソフトウェアテスト技術振興協会 (ASTER)		演習あり 

コース名	テスト設計技法実践ワーク		MD011
基本的なソフトウェアテスト設計技法それぞれの特徴や実践方法、注意事項、適用タイミングなどを解説と演習を交えて習得します。			
日程	2024-10-10 (木) ~ 2024-10-11 (金) 2日間 12h 9:30~16:30		
受講料	51,700円 (税込)		
到達目標	基本的なソフトウェアテスト設計技法それぞれの特徴や実践方法、実践時の注意事項、適用対象などを習得する		
受講対象 及び前提知識	初級～中級レベルの技術者を想定 IT関連の開発・保守業務におけるテストケース作成の経験はあるが、体系的にテスト設計技法を学んだことがない技術者		
内 容 ※進捗状況により変更となる場合があります。	1日目	2日目	
	・テスト設計技法の全体像 ・同値クラス/境界値テスト ・制御パステスト ・デシジョンテーブルテスト ・状態遷移テスト	・テスト設計ツール ・クラシフィケーションツリー法 ・CFD・組合せテスト ・ユースケーステスト ・シナリオテスト・サマリ	
担当講師	NPO 法人ソフトウェアテスト技術振興協会 (ASTER)		演習あり 
備考・注意			

5. AI・データサイエンス

コース名	Pythonによる機械学習入門		IA010
PCを用いたハンズオン研修です。本講座ではオープンソースのプログラミング言語「Python」を用いて、実際にプログラムを動かしながら主要な機械学習手法を一通り学びます。これから機械学習やAIに取り組みたいと思っている方に最適な機械学習入門講座です。			
日程	2024-11-28 (木) ~ 2024-11-29 (金) 2日間 12h 9:30~16:30		
受講料	60,500円 (税込)		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> Pythonのプログラミング基礎を習得する Pythonによるデータの扱いを習得する 様々な機械分析手法を理解して活用できるようになる 		
受講対象 及び前提知識	機械学習に興味のある方 Pythonによるプログラミングの基礎を学び、Pythonによる機械学習を習得したい方 何らかのプログラミング言語の経験がある方、PCの操作ができる方		
内容 ※進捗状況により変更となる場合があります。	1日目	2日目	
	AIと機械学習の基礎 Python基礎 教師あり学習1	(続き) 教師あり学習2 教師なし学習 クラウドサービス活用	
担当講師	TITC 合同会社 富田良治	PC実習あり 	
備考・注意	実習環境：Amazon Sagemaker、JupyterNotebook		


コース名	Pythonによるデータ分析演習		TD110
PCを用いたハンズオン研修です。本講座ではオープンソースのプログラミング言語「Python」を用いて、Pythonのプログラミング基礎からPythonによる主要なデータ分析手法を学びます。さらには、学んだデータ分析手法を駆使したデータ分析演習を通して、実際のビジネスの現場でのデータ分析活用方法を学びます。			
日程	2024-07-16 (火) ~ 2024-07-17 (水) 2日間 12h 9:30~16:30		
受講料	60,500円 (税込)		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> Pythonのプログラミング基礎を習得すること Pythonによるデータ分析を修得すること 様々な分析手法を駆使したデータ分析を行えること 		
受講対象 及び前提知識	マーケティング、企画担当者など、データ分析をビジネスに活用したい方。 Excelを超えたデータ分析を習得したい方。 Pythonによるプログラミングの基礎を学び、Pythonによるデータ分析を習得したい方。 何らかのプログラミング言語経験があることが望ましい。		
内容 ※進捗状況により変更となる場合があります。	1日目	2日目	
	Pythonチュートリアル Pythonによる主要な解析手法	データ分析演習 データ分析事例	
担当講師	TITC 合同会社 富田良治	PC実習あり 	
備考・注意	実習環境：Amazon Sagemaker、JupyterNotebook		


コース名	NEW 生成 AI 入門		IA021
<p>PC を用いたハンズオン研修です。本講座は、生成 AI を業務に活用したい全ての方を対象に、生成 AI 最新動向から利用上の注意点、実際の活用事例を学びます。</p> <p>個人演習を通じて生成 AI にできることを体感し、グループ演習を通じて新規事業の企画を生成 AI で作成します。プログラミングのスキルは不要です。</p>			
日 程	2024-7-18 (木) 1 日間 6h 9:30~16:30		
受 講 料	22,000円 (税込)		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・生成 AI の最新動向を理解する ・生成 AI にできること、できないことを理解する ・生成 AI の業務活用における注意点を理解する 		
受講対象 及び前提知識	<p>生成 AI で何ができるのかを知りたい方、業務へ生成 AI を活用したい方、生成 AI を活用したサービスを検討している方</p> <p>WindowsPC の操作ができる方、ただしプログラミングスキルは必要としません</p>		
内 容	<p>※進捗状況により変更となる場合があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生成 AI 概要 <ul style="list-style-type: none"> ・生成 AI の最新動向 ・業務に活用できる生成 AI ツール ・生成 AI の基本的な仕組み ・利用上の注意点 2. 生成 AI の活用事例 <ul style="list-style-type: none"> ・実際の業務における活用事例 ・生成 AI で生産性を向上するポイント 	<ol style="list-style-type: none"> 3. 生成 AI 活用演習 (個人ワーク) <ul style="list-style-type: none"> ・プロンプト文例集をもとに生成 AI を実行してみる 4. 生成 AI 活用演習 (グループワーク) <ul style="list-style-type: none"> ・生成 AI を活用して新たなサービスを企画する ・グループごとに発表 	
担当講師	TITC 合同会社 富田良治	PC実習あり 	演習あり 
備考・注意			


コース名	NEW プロンプトエンジニアリング入門		IA022
<p>PC を用いたハンズオン研修です。本講座では、生成 AI をプログラミング開発に活用する方法を学びます。プロンプトエンジニアリングの基礎から、生成 AI を用いたシステム構築まで、実践的な個人演習とグループでのアプリ開発演習を通じて、技術を習得します。生成 AI 活用のスキルを身につけたい方に最適です。</p> <p>生成 AI ビジネス活用も学びたい方は、前日開催の「生成 AI 入門」の受講もおススメしております。</p> <p>プログラミング言語は JavaScript を使用予定。</p>			
日 程	2024-07-19 (金) 1 日間 6h 9:30~16:30		
受 講 料	38,500円 (税込)		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・プロンプトエンジニアリングの基礎を理解する ・プログラミング開発業務への生成 AI の活用方法を理解する ・生成 AI を活用したシステムの構築方法を理解する 		
受講対象 及び前提知識	<p>プログラミング開発業務に生成 AI を活用したい方、生成 AI を活用したシステムを構築したい方</p> <p>WindowsPC の操作ができ、JavaScript でプログラミング開発が出来る方</p>		
内 容	<p>※進捗状況により変更となる場合があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生成 AI 概要 2. プロンプトエンジニアリング基礎 3. プロンプトエンジニアリング演習 (個人ワーク) 	<ol style="list-style-type: none"> 4. アプリ開発演習 (グループワーク) <ul style="list-style-type: none"> ・生成 AI を活用して Web アプリを開発する 	
担当講師	TITC 合同会社 富田良治	PC実習あり 	演習あり 
備考・注意			

6. マネジメント系

(1) PMBOK準拠 ※PMBOK®第6版+PMBOK®第7版

コース名	ITプロジェクトマネジメント入門		PMO30
デジタル時代は、プロジェクトは「価値から考える」時代となりました。開発業務で初めてプロジェクトに従事するとき何をすべきか、基本用語、基本行動、マインドセットを理解することができます。			
日程	2024-07-09 (火) ~ 2024-07-10 (水) 2日間 14h 9:30~17:30		
受講料	66,000円 (税込)		
到達目標	プロジェクトとは何か、メンバーはどのような活動を行うのかを理解し説明できる		
受講対象 及び前提知識	開発業務初心者またはプロジェクトマネジメントを基礎から体系的に学びたい方		
内容 ※進捗状況により変更となる場合があります。	1日目	デジタルの時代とは プロジェクトとは、プロジェクトの全体像、ITプロジェクトのマネジメントプロセス概要、プロジェクトメンバーの役割と責任、プロジェクト計画の流れ <実践ワークショップ> 計画立案：「顧客の価値から考える」とは	
	2日目	プロジェクト計画の流れ(続き)、プロジェクト実行・コントロールの考え方 <実践ワークショップ> 「リスクを盛り込んだ計画立案」 プロジェクト終結 (学んだ教訓、振り返り)	
担当講師	(有) ボランチ 21 大橋 知子 PMP®	演習あり 	
備考・注意	14PDU's ◎PMI タレント・トライアングル：働き方7、パワースキル4、ビジネス感覚3		

コース名	ITプロジェクトマネジメント計画		PMO32
計画なくして管理なし!! プロジェクトマネジメント計画で、プロジェクト成功は8割くらい決まっていると言われていて、スピード感をもって変化に適応することが求められる時代、開発プロジェクトの難しさを踏まえて理解し、具体的に「実現可能な」プロジェクト計画を実践的なワークショップを通してじっくり立案していきます。			
日程	2024-09-10 (火) ~ 2024-09-11 (水) 2日間 14h 9:30~17:30		
受講料	71,500円 (税込)		
到達目標	システム開発において、実現可能なプロジェクト計画が立案できるようになる		
受講対象 及び前提知識	ITプロジェクトにおいてリーダー、マネージャの役割を担っている、または将来プロジェクトを担う方、開発プロジェクトの経験が3年以上程度あることが望ましい。 「ITプロジェクトマネジメント入門」受講者またはプロジェクトマネジメントの基礎知識 (PMBOK 概要、SCRUM) があることが望ましい。		
内容 ※進捗状況により変更となる場合があります。	1日目	デジタルの時代とは、ITプロジェクト計画策定プロセス概要、プロジェクトの立ち上げ、スコープ定義、 <実践ワークショップ> 「ステークホルダ分析 (Influence Map)」、プロジェクト実施計画の策定、 <実践ワークショップ> 「計画の立案 (論理計画)」	
	2日目	プロジェクト実施計画の策定(続き)、 <実践ワークショップ> 「物理計画」	
担当講師	(有) ボランチ 21 大橋 知子 PMP®	演習あり 	
備考・注意	14PDU's ◎PMI タレント・トライアングル：働き方6、パワースキル4、ビジネス感覚4		

コース名	ITプロジェクトマネジメント実行管理		PMO33
実現可能なプロジェクトマネジメント計画を立案しても、キックオフ後の現場でのプロジェクトの運営、管理、コントロールは、プロジェクトリーダー、マネージャのアンテナと判断力、行動力によって、問題を最小限に抑えて進めることができます。実際によくある問題を実践的にワークショップを通して、判断力を鍛え、現場での実践力を向上させます。			
日程	2024-11-12 (火) ~ 2024-11-13 (水) 2日間 14h 9:30~17:30		
受講料	71,500円 (税込)		
到達目標	システム開発において、立案したプロジェクト計画に沿って、プロジェクトを遂行し、成功裡にプロジェクトを完了までマネジメントできるようになる		
受講対象 及び前提知識	ITプロジェクトにおいてリーダー、マネージャの役割を担っている、または将来プロジェクトを担う方 開発プロジェクトの経験が3年以上程度あることが望ましい。 「ITプロジェクトマネジメント計画」受講者又は同程度の知識があることが望ましい。		
内容 ※進捗状況により変更となる場合があります。	1日目	デジタルの時代とは、プロジェクトマネジメントの動向、ITプロジェクト実行・コントロールプロセス概要、プロジェクト実行管理 <実践ワークショップ>：フェーズごとの進捗管理、シナリオ1	
	2日目	プロジェクトコントロール <実践ワークショップ>：具体的な問題解決 シナリオ2、プロジェクト完了評価と終結、<実践ワークショップ>：フェーズごとのクロージング、シナリオ3	
担当講師	(有)ボランチ21 大橋 知子 PMP®	演習あり 	
備考・注意	14PDU's ◎PMI タレント・トライアングル：働き方4、パワースキル6、ビジネス感覚4		

●PMI®資格の更新手順について

詳細は、PMI 日本支部のサイトをご覧ください。

https://www.pmi-japan.org/pmp_license/renewal/

2022年5月にPMP®等の更新に関連する「CCR」がアップデートされました。

この中で「PMI タレントトライアングル」の改訂が併せてございました。

変更内容は以下の通りです。

(旧) Technical Project Management → (新) Ways of Working (働き方)


(旧) Leadership → (新) Power Skills (パワースキル)


(旧) Strategic and Business Management → (新) Business Acumen (ビジネス感覚)

現在まで取得されていたPDUカテゴリは、そのまま新カテゴリでお使いいただけます。

※詳しくは、PMI 日本支部のサイトよりPMI CCRハンドブックをご参照ください。

(2) プロジェクトマネジメント実践

コース名	上流フェーズレビュー実践 ＝プロジェクト/プロダクトリスクを許容範囲に封じ込める＝		PMO11
限られたリソース・時間の中で実施するレビューで重要な問題を検出するには、戦略的なレビュー実践が欠かせません。ソフトウェア開発に関するレビューに必要な運営要件、観点設定方法を演習を通じて学びます。			
日程	2024-07-04 (木) ~ 2024-07-05 (金) 2日間 12h 9:30~16:30		
受講料	51,700円 (税込)		
到達目標	システム/ソフトウェア開発における上流フェーズでのプロジェクト/プロダクトリスクの見極め方、およびリスクを低減するレビュー観点の設定・レビュー実践方法を把握する		
受講対象 及び前提知識	IT 開発プロジェクト・レビューに関する一般的な知識のある方又は実務経験のある方		
内 容 ※進捗状況により変更となる場合があります。	1 日目	2 日目	
	ソフトウェアレビューとは レビューの全体像と個別詳細 レビューの問題点と原因 レビュープロセス解説 プロジェクト/プロダクトリスクの特定の評価 レビュー観点とは レビュー観点はどこから来るのか レビュー観点導出方法 (概要) レビュー観点導出演習 ・題材と背景の説明・観点設定	レビュー観点とは レビュー観点導出方法 (概要) レビュー観点導出演習 ・題材と背景の説明・観点設定 ・設定した観点の評価・講評とまとめ レビュー汎用観点リストとその活用方法 レビュー汎用観点リストと活用方法設定演習 ・汎用観点リストの形状と粒度設定 ・汎用観点リストの活用方法設定 ・結果評価と講評・まとめ全体まとめ	
担当講師	(株)HBA 安達賢二	演習あり	
備考・注意			



コース名	サーバントリーダーシップとファシリテーション を活用したプロジェクトマネジメント		PMO12
IT 開発プロジェクトや継続改修対応は、多くのリスクと問題に翻弄されますが、その対応リソースはほとんどないのが実情です。リスク、問題を早期に発見し、「対応する必要がある要因」を特定してリソースを集中投下するためには、メンバー全員の協調と連携、そして成長が必要です。これらを実践するためにリーダーシップスタイルとプロジェクトファシリテーションを解説とワークを通して学びます。			
日程	2024-08-29 (木) ~ 2024-08-30 (金) 2日間 12h 9:30~16:30		
受講料	51,700円 (税込)		
到達目標	IT 開発プロジェクトにおいてリーダーシップスタイル×ファシリテーションにより、メンバーが持つチカラを発揮し、先読みしながら運営する、そしてメンバーが成長する場を作る方法を把握する。		
受講対象 及び前提知識	IT 開発プロジェクトに関する一般的な知識のある方又は実務経験のある方		
内 容 ※進捗状況により変更となる場合があります。	1 日目	2 日目	
	・IT プロジェクトの実態 ・リスク、問題マネジメント ・リーダーシップスタイルと使い分け ・プロジェクトファシリテーション ・ファシリテーションスキルと実施事項	・単発ふりかえりと継続的ふりかえり ・ふりかえり実践ワーク ・リスク、問題管理表作成ワーク ・リスク・問題モデル構築ワーク ・結果考察・まとめ	
担当講師	(株)HBA 安達賢二	演習あり	
備考・注意	この講座は昨年度開催した「先読み型プロジェクトマネジメント」と同じ内容です。		

コース名	失敗しないプロジェクトのための段取り力 ～段取り八分で先憂後楽(せんゆうこうらく) プロジェクト～		PMO40
<p>成功率『52.8%』といわれている日本の IT プロジェクト。失敗しないためにはどうしたらいいのか？ 本研修では、その答えの一つとして『段取り力』を取り上げます。 プロジェクトマネジメントのデファクトスタンダードである PMBOK®も参考にしつつ IT プロジェクト特有のテーマを重点的に解説することで、プロジェクトマネージャとしての基本を学びます。 同時に、研修参加者には、ファシリテーター役を担っていただくことで、各種会議のとりまとめ役を担う力を身につけます。※本研修では主として「立上げ」と「計画」プロセス群を扱います。「実行」-「監視・コントロール」プロセス群は、別途「失敗しないプロジェクトのためのリスク先読み力」を受講下さい。</p>			
日程	2024-11-25 (月) ~ 2024-11-26 (火) 2日間 12h 9:30~16:30		
受講料	55,000円 (税込)		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトマネジメントにおける主要な計画が独力で立てられる ・資源制約を考えたスケジュール計画が独力で立てられる ・工数・期間をメンバーの協力の下、見積もることができる 		
受講対象 及び前提知識	現在 IT プロジェクトにメンバー又はマネージャとして携わっている方、今後予定している方		
内 容	1日目	2日目	
	<p>※進捗状況により変更となる場合があります。</p> <p>ノーミング・セッション プロジェクトマネジメントとは？ 日本人の得意な段取りについて PMBOK®の解説 プロジェクトの目的と目標 段階的詳細化について</p>	<p>ネットワーク図 リスクマネジメント 体制図の活用 ケース演習 (プロジェクト憲章作成、WBS の作成、ネットワーク図の作成、リスク登録簿の作成 (グループ演習、全体発表と講師講評) 総まとめ</p>	
担当講師	セイ・コンサルティング・グループ(株) 山崎 有生	PC使用あり	演習あり
備考・注意	12PDUs ©PMI タレント・トライアングル : 働き方 12		



「失敗しないプロジェクトのための段取り力」参加者の声

- 座学と演習のバランスがよく楽しく理解を深めることができた。
また実際の業務につなげることができると感じた。
- WBS の作り方、見積もりの方法等業務に活かすことのできる内容で
とても良かった。講師の方の物腰が柔らかく説明もわかりやすかった。


コース名	失敗しないプロジェクトのためのリスク先読み力 ～プロジェクトの最重要ポイント、見えない問題を予防する～		PMO41
<p>成功率『52.8%』といわれている日本のITプロジェクト。失敗しないためにはどうしたらいいのか？ 本研修では、その答えの一つとして『リスクマネジメント』を取り上げます。 事例に極めて近いケースを用い、カードやサイコロを使いゲーム形式で楽しく学んでいただける内容です。 また研修参加者には、ファシリテーター役を担っていただくことで、各種会議のとりまとめ役を担う力を身につけます。本研修では主として「実行」-「監視・コントロール」プロセス群を扱います。 「立上げ」と「計画」プロセス群は、別途「失敗しないプロジェクトのための段取り力」を受講下さい。</p>			
日程	2024-11-27 (水) ~ 2024-11-28 (木) 2日間 12h 9:30~16:30		
受講料	55,000円 (税込)		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・独力でリスク管理表が作成できる ・独力で公共案件では必須となりつつあるEVMを使った進捗管理ができる ・リスク対策を一人5つ以上、現場の仕事に持ち帰る 		
受講対象 及び前提知識	現在ITプロジェクトにメンバー又はマネージャとして携わっている方、今後予定している方		
内 容 ※進捗状況により変更となる場合があります。	1日目	2日目	
	<p>ノーミング・セッション、グラウンド・ルール作り プロジェクト・マネジメントとは(確認)、ファシリテーションとは、日本人の苦手なリスクマネジメント、EVMによるコントロール、リスクマネジメントとは？</p>	<p>リスク・マネジメントゲーム、リスク登録簿を持ち帰る、先読み力向上「5つの習慣」、自己成長のための指針</p>	
担当講師	セイ・コンサルティング・グループ(株) 山崎 有生	PC使用あり 	演習あり 
備考・注意	12PDU's ©PMI タレント・トライアングル : 働き方 12		




「失敗しないプロジェクトのためのリスク先読み力」参加者の声


- ゲーム形式の演習等、終止穏やかで楽しい研修でした。


学んだことを業務に活かせるように振り返りをしたいと思います。

コース名	失敗しないプロジェクトのための段取り力		XS241
<p>「オンライン (Zoom)」開催研修です。</p> <p>成功率『52.8%』といわれている日本の IT プロジェクト。失敗しないためにはどうしたらいいのか？本研修では、その答えの一つとして『段取り力』を取り上げます。</p> <p>プロジェクトマネジメントのデファクトスタンダードである PMBOK®も参考にしつつ IT プロジェクト特有のテーマを重点的に解説することで、プロジェクトマネージャとしての基本を学びます。</p> <p>同時に、研修参加者には、ファシリテーター役を担っていただくことで、各種会議のとりまとめ役を担う力を身につけます。</p> <p>※本研修では主として「立上げ」と「計画」プロセス群を扱います。「実行」-「監視・コントロール」プロセス群は、別途「失敗しないプロジェクトのためのリスク先読み力」を受講下さい。</p>			
日程	2025-01-20 (月) ~ 2025-01-22 (水) 3日間 12h 13:00~17:00		
受講料	55,000円 (税込)		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトマネジメントにおける主要な計画が独力で立てられる ・資源制約を考えたスケジュール計画が独力で立てられる ・工数・期間をメンバーの協力の下、見積もることができる 		
受講対象 及び前提知識	現在 IT プロジェクトにメンバー又はマネージャとして携わっている方、今後予定している方		
内 容 ※進捗状況により変更となる場合があります。	1日目	ノーミング・セッション プロジェクトマネジメントとは？ 日本人の得意な段取りについて PMBOK®の解説 プロジェクトの目的と目標	
	2日目	段階的詳細化について ネットワーク図 リスクマネジメント	
	3日目	体制図の活用 ケース演習 (プロジェクト憲章作成、WBS の作成、 ネットワーク図の作成 リスク登録簿の作成 (グループ演習、全体発表と講師講評) 総まとめ	
担当講師	セイ・コンサルティング・グループ(株) 田渕 真理子	演習あり 	
備考・注意	◎実習環境：オンラインホワイトボード「MIRO」使用します。ご自身のPCに文章作成ソフト (例：OfficeWord、メモ帳など) をご用意ください。		

コース名	失敗しないプロジェクトのためのリスク先読み力		XS242
<p>「オンライン (Zoom)」開催研修です。</p> <p>成功率『52.8%』といわれている日本の IT プロジェクト。失敗しないためにはどうしたらいいのか？</p> <p>本研修では、その答えの一つとして『リスクマネジメント』を取り上げます。</p> <p>事例に極めて近いケースを用い、カードやサイコロを使いゲーム形式で楽しく学んでいただける内容です。</p> <p>また研修参加者には、ファシリテーター役を担っていただくことで、各種会議のとりまとめ役を担う力を身につけます。</p> <p>本研修では主として「実行」-「監視・コントロール」プロセス群を扱います。</p> <p>「立上げ」と「計画」プロセス群は、別途「失敗しないプロジェクトのための段取り力」を受講下さい。</p>			
日 程	2025-02-17 (月) ~ 2025-02-19 (水) 3日間 12h 13:00~17:00		
受講料	55,000円 (税込)		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・独力でリスク管理表が作成できる ・独力で公共案件では必須となりつつある EVM を使った進捗管理ができる ・リスク対策を一人5つ以上、現場の仕事に持ち帰る 		
受講対象 及び前提知識	現在 IT プロジェクトにメンバー又はマネージャとして携わっている方、今後予定している方		
内 容 ※進捗状況により変更となる場合があります。	1 日目	ノーミング・セッション、グラウンドルール作り プロジェクト・マネジメントとは (確認) ファシリテーションとは、 日本人の苦手なリスクマネジメント EVM によるコントロール	
	2 日目	リスクマネジメントとは？ リスク・マネジメントゲーム	
	3 日目	リスク登録簿を持ち帰る 先読み力向上「5つの習慣」 総まとめ	
担当講師	セイ・コンサルティング・グループ(株) 田淵真理子	演習あり 	
備考・注意	◎実習環境：オンラインホワイトボード「MIRO」を使用します。ご自身の PC に文章作成ソフト (例：OfficeWord、メモ帳など) をご用意ください。		

(3) アジャイルプロジェクトマネジメント

コース名	デジタル時代に適応するアジャイルシフト	PMO34
<p>デジタル (DX) 時代において、アジャイル案件が増えてくる中、アジャイルでの開発を従来通りの階層型の組織・請負契約のままアジャイルプロジェクトをやろうとして失敗しているケースが見受けられます。</p> <p>アジャイルプロジェクトの判例も増えていることから、時代の潮流とはいえ発注側、受注側 も中途半端な知識でアジャイルに向かうのは危険です。こうした失敗アジャイルにならないためにアジャイルの本来の特徴を理解し、ウォーターフォールの良いところと使い分けながら、今後のプロジェクトをスムーズにシフトする、デジタル時代のマネジメントスキルを習得しましょう。</p>		
日程	2025-1-30 (木) 1日間 6h 9:30~16:30	
受講料	38,500円 (税込)	
到達目標	ウォーターフォールの開発の経験を活かしながら、アジャイルプロジェクトの「よくはまる落とし穴」を理解し、単納期少数開発プロジェクトにノウハウを活かす道しるべを描けるようになる	
受講対象 及び前提知識	短納期、少人数で進める開発プロジェクトのリーダー向け ウォーターフォールで進めてきたが、変化への対応を求められるプロジェクトリーダー プロジェクトマネジメントの基礎知識 (PMBOK 概要) があることが望ましい。ウォーターフォールの開発プロジェクトの経験があることが望ましい。	
内容	<ul style="list-style-type: none"> デジタルの時代とは デジタル時代のプロジェクトマネジメント アジャイルの誤解と落とし穴 マインドセットを変える アジャイルの文化を取り入れる 	
※進捗状況により変更となる場合があります。		
担当講師	(有) ボランチ 21 大橋 知子 PMP®	演習あり 
備考・注意	6PDUs ◎PMI タレント・トライアングル：働き方3、パワースキル1、ビジネス感覚2	

コース名	アジャイルプロジェクトマネジメント	PM120
<p>「アジャイル」という言葉を聞いたことはあるが、実際にどのようにすればよいかわからないという方がいらっしゃるのではないのでしょうか。本コースでは、そのような方のために、アジャイル開発の文献を数多く翻訳している講師が、前提となる知識や手法をゼロから学ぶ環境を提供します。コースが終わった頃には、最初の一步を踏み出すことができるでしょう。</p>		
日程	2024-10-24 (木) ~ 2024-10-25 (金) 2日間 12h 9:30~16:30	
受講料	66,000円 (税込)	
到達目標	これからアジャイル開発を実施するために、前提となる概念、価値と原則、チームマネジメント、コーチング、開発手法、見積手法などを身につける。	
受講対象 及び前提知識	アジャイル開発について知りたい方 (職種は問いません)、開発を担当するエンジニアやリーダー	
内容	1日目	2日目
	<ul style="list-style-type: none"> アジャイル開発とは何か アジャイルの原則とマインドセット チームのパフォーマンス アジャイルな見積りと計画づくり 問題発見と継続的改善 	<ul style="list-style-type: none"> アジャイルプロジェクトの構想設計 カンバンゲーム これから組織に広めるには アジャイルレトロスペクティブ
※進捗状況により変更となる場合があります。		
担当講師	ワイクル株式会社 角 征典	演習あり 
備考・注意		

7. eラーニング「SQT」

運営：株式会社シナジークエスト 販売：株式会社北海道ソフトウェア技術開発機構



※SQT とは？

SQT は、株式会社シナジークエストが独自に構築したオンライン学習サイトです。

Synergy Quest Tech-learning の頭文字3つをとって「SQT」と名付けました。

● 「SQT」の特徴

1. マイクロラーニング

SQT では、マイクロラーニングの考え方を取り入れ、通常研修の1コマで扱う情報量を上限とする小講座の集合として全体のコースを構成しています。

短時間で完結できる小講座を単元として、その積み重ねで知識とスキルを構築します。

2. 見る・聞く・読むの3要素

新しい知識を取り入れる活動において、要点や図から得られる直感が重要な人、耳から入る声が届きやすい人、文章を読むことで理解や記憶が促進される人など、効果が上がりやすい学習スタイルは人によってさまざまです。

SQT では、異なる学習スタイルに対応できるよう、次の3つの要素を盛り込んだ教材を提供します。

- ・要点をまとめた説明スライド（視覚要素）
- ・解説音声（聴覚要素）
- ・同じ内容を文章として読める解説ページ（読解要素）

3. 確認テストで知識と理解度をチェック

さらに、脳にインプットした知識や理解を

- ・多肢選択
- ・キーワード入力
- ・語句と語句との対応づけ

などの設問でチェックするクイズ形式のオンライン試験を単元ごとに提供します。

試験結果は個人の学習履歴としてシステム上に記録され、ログインすればいつでも過去の結果を振り返ることができます。

間違えたり理解や記憶があいまいだったポイントは、対応する教材で復習することができます。

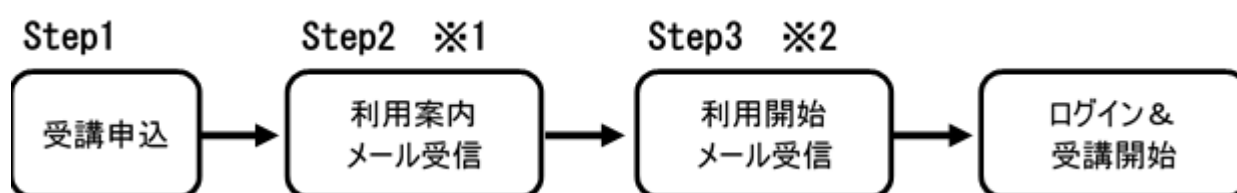
このように SQT のeラーニングは、3通りの経路によるインプットと、知識と理解をチェックするテストの相乗効果で、リモート時代の自己学習をサポートします。

● 提供中の e ラーニング講座 :

※順次コンテンツを増やす予定

	コース名	利用期間	受講料 ※1 名分の料金
1	JDBC プログラミング入門	開始日から 30 日間	3,300 円(税込)
2	Spring Boot Web プログミング (基礎編)		6,600 円(税込)
3	HTML/CSS 入門		7,150 円(税込)
4	Linux コマンド入門		5,500 円(税込)
5	IT パスポート取得講座	開始日から 90 日間	9,900 円(税込)

- 質問方法 : Q&Aは、各講座のコメント欄で対応します。
- 学習環境 : 各自でPC、スマホやタブレットをご用意ください。ブラウザ(推奨 : Chrome)から受講いただけます。
- LMS 進捗管理 :
受講者ご本人以外に、会社/団体の育成担当者用ユーザーアカウントを発行することも可能です。このユーザーからは、自社受講者の各单元ごとの学習状況(单元テストの実施状況や結果)を通じて進捗を把握することができます。
- お申し込みから受講開始まで :



- ※1 Step2 利用案内の通り「SQT」ユーザ登録をし、アカウントとご希望の利用開始日をご連絡ください。
- ※2 Step3「利用開始メール受信」後は、キャンセル出来ませんのでご了承ください。

● 受講料について :

基本利用開始月の末締めで申込書の宛先に、請求書を発行いたしますので、期日までにお振込みをお願いします。

コース名	JDBC プログラミング入門		TJ010
<p>「eラーニング(SQT)」です。</p> <p>JDBC (Java DataBase Connectivity) は、Java からデータベースにアクセスするための標準 API です。Java アプリケーションのデータアクセスを実現するには、その基礎となる JDBC の API や動作の仕組みの理解が重要です。この講座では、JDBC API とドライバの関係、主要 API の使い方、および DAO パターンについて解説し、サンプルプログラムの実習を通じて理解を深めます。JDBC API による基本的なデータアクセスを実装できるようになるほか、より高度なフレームワークを使いこなすための前提知識を身につけることができます。</p> <p>ご注意: Windows 上の Eclipse (Pleiades) と MariaDB を使用して実習を行う前提の内容となっております。</p>			
受講料	3,300円(税込)		
到達目標	<p>JDBC の API とドライバ実装との関係を理解する</p> <p>Connection、ResultSet、PreparedStatement 等の主要 API を使用して、基本的なデータアクセス処理を実装できるようになる</p> <p>DAO パターンの効用、DTO の目的を理解する</p>		
受講対象 及び前提知識	<p>新入社員(ソフトウェア開発者)の方、Java の Web アプリケーション開発の基礎知識を習得したい方</p> <p>パソコンの基本操作、テキストエディタによる編集等ができること、基本的な Java プログラミングの知識を持っていること</p>		
内 容	<p>実習環境のセットアップ</p> <p>JDBC の基礎</p> <p>パラメータの事前設定</p> <p>トランザクション (JDBC)</p>	<p>日時データの扱いと自動採番</p> <p>DAO パターン</p> <p>JDBC 演習</p>	

コース名	Spring Boot Web プログミング (基礎編)		TJ022
<p>「eラーニング(SQT)」です。</p> <p>Spring Boot フレームワークを使った Web アプリケーション開発を始めるための導入講座です。Spring MVC を使って、HTML フォームから送信されたリクエストを処理する簡単なプログラムを作成できるようになります。この講座ではデータベースを使ったデータの永続化は扱わず、その前段階の基本的な画面周りの動作を実装するための基礎知識を整理します。</p>			
受講料	6,600円(税込)		
到達目標	<p>STS4 (Eclipse) の Spring スタータープロジェクトで開発を始められるようになる</p> <p>HTTP や URL 等、Web 開発の基礎知識を整理する</p> <p>Spring Boot で GET/POST リクエストを処理する方法がわかる</p> <p>Thymeleaf を利用した MVC 構成のアプリケーションの動作原理を理解する</p>		
受講対象 及び前提知識	<p>新入社員(ソフトウェア開発者)の方</p> <p>Java の Web アプリケーション開発の基礎知識を習得したい方</p> <p>パソコンの基本操作 (Windows の基礎、テキストエディタによる編集等) ができかつ基本的な Java プログラミングの知識を持っていること</p>		
内 容	<p>Spring Boot の導入</p> <p>Lombok の利用</p> <p>HTTP と静的ファイル</p> <p>GET リクエストの処理</p> <p>フォームと POST リクエスト</p>	<p>MVC と Thymeleaf</p> <p>Model による値の受け渡し</p> <p>ビューの実装</p> <p>MVC アプリケーション実習</p> <p>リダイレクトと PRG</p>	


コース名	HTML/CSS 入門		TF011
<p>「eラーニング(SQT)」です。</p> <p>インターネットのあらゆるシーンで Web コンテンツが重要な役割を果たします。それを記述するための標準規格が HTML と CSS です。この講座では、HTML、CSS による Web コンテンツの記述に最低限必要な基礎知識を整理します。Web サイト制作のほか、ブログや CMS 上でのコンテンツ作成、専門業者への依頼/指示など、HTML と CSS が関わる多様な場面で役立つ共通の基礎知識を習得することができます</p>			
受講料	7,150円(税込)		
到達目標	HTML、CSS の基本的な使い方を把握する SE として最低限必要な Web コンテンツ作成に関する知識をマスターする		
受講対象 及び前提知識	Web コンテンツ作成の基礎知識を習得したい方 新入社員(ソフトウェア開発者)の方 パソコンの基本操作(Windows の基礎、テキストエディタによる編集等)ができること		
内 容	Web と HTML の概要 HTML 文書の作成 文字コンテンツの記述 画像とリンク リストとテーブル フォーム	汎用の要素と属性 HTML 演習 スタイルシートと CSS セレクトアの使い方 文字のスタイル ボックスモデル	ボックスの色と背景 要素の配置と表示 Bootstrap の概要 グリッドシステム テーブル、枠線、画像 総合演習

コース名	Linux コマンド入門		TL011
<p>「eラーニング(SQT)」です。</p> <p>コマンドラインに苦手意識を感じている方を対象に、Linux のターミナルを使った開発実務で最低限必要な知識を整理します。Linux なら共通して使える基本コマンドをマスターし、汎用性の高い基礎力を身につけることができます。また、標準入出力、リダイレクト、パイプといった共通概念についても解説し、ワンライナー(複数の処理を1行のコマンドラインで組み立てるもの)の解説や構築にも対応できるスキルを構築します。</p>			
受講料	5,500円(税込)		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ターミナルの便利さと有用性を認識できるようになる 一般に広く使用されている Linux の基本コマンドの機能と使い方を習得すること リダイレクトやパイプを使ってデータの加工や閲覧ができるようになること 		
受講対象 及び前提知識	ターミナル(黒い画面)へのアレルギーを克服したい方、Linux 上の開発作業に必要な基本コマンドを覚えたい方、ワンライナーを解説したり自分で組み立てるための基礎知識を整理したい方		
内 容	UNIX の生い立ちと哲学 GNU/Linux の誕生とディストリビューション 仮想化技術と VirtualBox Vagrant と実習環境 CLI とシェル コマンドの実行 Bash の利用	エイリアス ファイルとディレクトリの基礎 ファイル関連コマンド ユーザとグループ パーミッション 特殊なアクセス権	ストリームとリダイレクト 複数コマンドの実行 フィルタコマンドの利用 vi エディタの使い方 付録: よくある処理とコマンド

コース名	IT パスポート取得講座	VJ010
<p>「eラーニング(SQT)」です。</p> <p>本講座は、コンピュータやネットワーク、セキュリティなど IT に関する理解 (IT リテラシ) を高め、DX やデジタル化に対応できる人材となる (リスキリング) ことを目的とするもので、IT を業務へ効果的に活用するための国家試験「IT パスポート」の取得を目指すものです。</p> <p>視聴期間中は「どこでも」、「いつでも」、「何度でも」 時間を問わず、パソコン・タブレット・スマートフォンのいずれからでも繰り返しご視聴いただけます。</p>		
受講料	9,900円 (税込)	
到達目標	国家試験「IT パスポート」合格できる知識を身に付けることができる	
受講対象 及び前提知識	IT パスポートを取得したい方 IT への理解を深め、業務に役立てたい方 DX 人材を育てたい企業様 DX 推進のため社員のリスキリングに取り組んでいる企業様	
内 容	動画配信による第1章～第10章までの解説動画、テキストと理解度確認テスト (過去問) がセットされておりますので合格に向けての日々の学習にぴったりです。 第1章 コンピュータの基本 第2章 計算知識とデジタル化 第3章 ネットワークとインターネット 第4章 データベース 第5章 システムの開発 第6章 プロジェクトマネジメントとサービスマネジメント 第7章 セキュリティ技術とセキュリティ管理 第8章 企業活動と戦略 第9章 情報システム戦略と IT の活用 第10章 守るべき法令とルール	

8. パーソナル


(1) コミュニケーション



コース名	IT 技術者のためのコミュニケーション ＝「論理的」で「伝わる」意思疎通の技法＝		XS210
<p>「オンライン (Zoom)」開催研修です。</p> <ul style="list-style-type: none"> IT 人材に必要な論理的に考えるスキル、口頭表現のスキル等を理論と実践を通じて身につけます。 各種チャレンジやプレゼンコンテスト等により参加者の方々と交流でき、楽しく身に付けることができます。 講師、他者、ビデオ等様々なフィードバックにより自己のコミュニケーションの特性が把握でき、受講者が強みを生かし、弱みを意味のないものにする方策を自ら見いだしていける内容です。 			
日程	第1クール 2024-08-05 (月) ～ 2024-08-07 (水) 第2クール 2024-12-09 (月) ～ 2024-12-11 (水) 3日間 12h 13:00～17:00		
受講料	55,000円 (税込)		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 自分だけの力でロジカルに考えることができる 読みやすく分かりやすい文章が作成できる 他者と協力してプレゼンテーションが実施できる 		
受講対象 及び前提知識	業務上意思疎通の力を必要としている方		
内容	1日目	2日目	3日目
	コミュニケーション概論 ～ロジカルシンキング編～ 0. はじめに 1. ロジカルコミュニケーション 2. 誰でもできる、ロジカルシンキング 3. より強固なロジカルシンキング	プレゼンテーション概論 ～プレゼン準備編～ 4. プレゼンテーション 5. プレゼンテーションの導入 6. プレゼンテーションの本論 7. 実践、プレゼンテーション企画 ドキュメント作成	プレゼンテーションの実践-プレゼン発表編 7. の続き ・ドキュメント作成見直し ・講師からの個別指導 ・リハーサルと相互フィードバック 8. プレゼンテーションの実践 ・個別発表とフィードバック
担当講師	セイ・コンサルティング・グループ(株) 田渕真理子		演習あり 
備考・注意	◎実習環境：オンラインホワイトボード「MIRO」を使用します。ご自身の PC に文章作成ソフト (例：OfficeWord、メモ帳など) をご用意ください。		





オンライン「コミュニケーション」参加者の声


- コミュニケーションのポイントとして挙げられていることが、研修の中でも講師の方が実践されていて説得力があった。
- 対面ではないが、質疑応答・発表の機会を多くいただき良かった。
- 普段できないプレゼンの研修が受けられてよかった。普段の会話にも使ってみたい内容が多くて良かった。

コース名	生産性 10 倍! ※作成時間 5 分の 1・アウトプットの質 2 倍 (講師所感) NEW ChatGPT を活用したドキュメンテーション研修		PSO25
<p>IT 技術者に不可欠な文書表現と情報作成のスキルを身につける革新的なプログラムです。ChatGPT のプロンプトエンジニアリングを通じて文章作成能力を身につけます。</p> <p>この研修では、IT 分野で欠かせないドキュメンテーションスキルの獲得を目指します。ChatGPT を活用し、理論と実践を通じて、参加者が優れた文章作成能力を磨きます。</p> <p>講師やグループメンバーからの的確なフィードバックを受けながら、個人およびグループ作業を通じてドキュメント作成能力を向上させます。文書作成のスペシャリストとしての能力を高め、ChatGPT を活用する上での手法を習得します。</p> <p>※演習は ChatGPT4.0 を使用予定</p>			
日程	2024-11-20(水)~2024-11-21(木) 12h 9:30~16:30		
受講料	55,000円(税込)		
到達目標	<p>ChatGPT について自社に戻って周囲に説明ができる。</p> <p>適切なプロンプトで仕事で使うドキュメントを独力で作成できる</p> <p>ChatGPT の限界を理解し、人間の力と組み合わせることができる</p>		
受講対象 及び前提知識	ChatGPT 未経験者、ChatGPT3.5 は使っていて 4.0 に興味のある方 対象IT業界経験3年以上		
内容 ※進捗状況により変更と なる場合があります。	1日目	2日目	
	<p>オリエンテーション</p> <p>ChatGPT の概要と歴史</p> <p>ChatGPT の基本的な使用方法</p> <p>実践: ドキュメント作成の基礎</p>	<p>実践: 複雑なドキュメントの作成</p> <p>ChatGPT の応用例</p> <p>グループワーク: ドキュメント作成チャレンジ</p> <p>フィードバックと Q&A セッション</p> <p>研修のまとめと次のステップ</p>	
担当講師	セイ・コンサルティング・グループ(株) 田淵真理子	PC 実習あり 	演習あり 
備考・注意	※事前準備として ChatGPT で作成したいドキュメントのテーマを考えて研修に参加ください		

コース名	 IT 技術者のための営業力強化			XS260
<p>「オンライン (Zoom)」開催研修です。</p> <p>「営業なければ経営なし」の言葉通り、IT がどれだけ進展しても人の営業行為が必要なことは論を俟ちません。しかし、一般に IT 企業は営業人員が少なく、一人ひとりに高い生産性が求められています。また、派遣先顧客とともに仕事をしている技術者は営業以上に顧客のニーズや情報を掴んでいるので、それを営業に活かすことができればより売上拡大につながることでしょう。</p> <p>本研修では、営業マインドの醸成から、営業に必要なスキル・行動を身につけます。</p>				
日 程	2024-11-6 (水) ~2024-11-8 (金) 3日間 12h 13:00~17:00			
受講料	55,000円 (税込)			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成に向けた営業のマインドを身につける ・営業の基本動作を身につける ・IT エンジニア経験を営業に活かす道を参加者個々人が持ち帰る 			
受講対象 及び前提知識	IT エンジニア経験があり、営業力が必要になった社員			
内 容 ※進捗状況により変更となる場合があります。	1日目	2日目	3日目	
	オリエンテーション IT エンジニアのための成功 営業のための基本 あなたの強みを活用する技術の専門知識と営業スキルの融合	営業の第一歩は顧客理解から響くプレゼンテーション	営業マインドセット ・ケース演習 まとめと今後のアクションプラン	
担当講師	セイ・コンサルティング・グループ(株) 山崎有生			演習あり 
備考・注意	◎実習環境：オンラインホワイトボード「MIRO」を使用します。ご自身の PC に文章作成ソフト (例：OfficeWord、メモ帳など) をご用意ください。			

コース名	プレゼンやミーティングに役立つ図解力 ＝ 情報を整理し分かり易く伝える技術 ＝		PS042
	ビジネスの場面において、言葉・文章だけのコミュニケーションは、十分に意図が伝わらなかつたり、相手に誤解を生んだりする場合があります。プレゼンテーションやミーティングの場面において効果的に図解を活用する方法を習得すると、コミュニケーションが円滑になるだけでなく、自身の思考を整理することができるので、仕事の効率も向上させることができます。		
日 程	第1クール 2024-08-09 (金) 第2クール 2024-12-06 (金) 4h 13:00~17:00		
受講料	16,500円 (税込)		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・右脳と左脳を使い分けながら、自身の思考を整理すると共に、相手に伝わりやすいコミュニケーションを行えるようになる ・相手の発言を要約・構造化することで、面談やミーティングを効率的・効果的に行うことができるようになる 		
受講対象 及び前提知識	論理的思考スキルを向上させたい方、プレゼンテーションスキルを向上させたい方 ミーティングを効率的・効果的に運営したい方		
内 容	※進捗状況により変更となる場合があります。 構造化のスキル/要約のスキル、プレゼンテーション力の向上、ミーティングでの板書の活用		
担当講師	ジーンズ北海道㈱ 高田 豊	演習あり 	
備考・注意			

コース名	＝ どこに行ってもひっぱりだこ！最強の人材になろう ＝ 人生を変える話し方		PS061
	正しい話し方を身につけるとあなたの話を聞く人の気持ち良くなります。あなたともっと話したいと思い、あなたに話をきいてもらいたいと思います。良い話し方と悪い話し方の差はどこにあるのか、事例をふんだんに盛り込みながら進めますので、わかりやすく楽しく学ぶことができます。 発声練習から始まり、堂々と見える立ち居振る舞いを含めた実践的な内容で、人前で話す自信がつけます。一人ひとりが持つ強みを引き出します。話し方のみならず、聞き方、文章の作り方を学びます。ナレータ、司会として番組に多数出演した経験をもとに、皆さんに「伝える楽しさ」を知っていただくことが出来る内容です。		
日 程	2024-07-29 (月) ~ 2024-07-30 (火) 2日間 12h 9:30~16:30		
受講料	38,500円 (税込)		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・短い言葉で的確に伝えることができる ・報連相上手になる ・一目おかれるプレゼンテーション能力が身につく ・様々なラジオ番組から情報や知識を得るために聴く力を身に付けることが出来る 		
受講対象 及び前提知識	話し方、聞き方を基本から見直し、ビジネス、プライベートすべてに役立つ伝える技術を身につけたい方、相手の意図を聴き取る力を付けたい方		
内 容	1日目	2日目	
※進捗状況により変更となる場合があります。	<ul style="list-style-type: none"> ・人に好かれ、信頼を得るために心がけたいこと 【聴く】こと【伝えること】を磨く ・第一印象の大切さ、発声練習、正しい敬語の使い方 	<ul style="list-style-type: none"> ・何を伝えたいか、を知る、ナレーション、インタビューを体験する、朗読のコツ ・プレゼンテーションスキルを磨く、実践してみよう！、2日間の講義内容をまとめ、発表する 	
担当講師	グレイスマナーズインターナショナル 佐藤 あけみ	演習あり 	



コース名	＝ どこに行ってもひっぱりだこ！最強の人材になろう ＝ ビジネスに必要な読解力・要約力・想像力向上研修		PS064
<p>現代社会において読解力を身につけることはビジネスを円滑に進めるうえで最も大切なことのひとつです。相手が何を求めているのかを正しく理解し、次に行うべきことに素早く気づくことができるようになります。難解な文章を読み解いたり、わかりやすい文章が書けるよう、長い文章を短くする、省略された言葉が何かを探っていくなどのワークを多く取り入れます。文章を正しく理解する力が身につくことで、ビジネスのみならずプライベートでも必要なメールの読み書き、コミュニケーション力をアップさせることができます。</p> <p>講師が著書出版に際し苦心して身につけた要約力・想像力・文章校正力スキルを丁寧にお伝えします。</p>			
日程	2024-09-09 (月) ～ 2024-09-10 (火) 2日間 12h 9:30～16:30		
受講料	38,500円(税込)		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすい報告書が書けるようになる ・人に説明するのがうまくなる ・読みづらい文章を読み解くコツが身につく ・論理的な文章が書けるようになる ・新聞記事を読み比べ、世の中で起こっていることを正しく理解するがつく ・テレビやラジオ番組を様々な角度から視聴する力が身につく 		
受講対象 及び前提知識	<p>本質を見抜く力を持ち、社内でのコミュニケーションをよりよくしたい方 社説や小説を読み解き、教養を身につけたい方 わかりやすい文章を書けるようになりたい方</p>		
内容	1日目	2日目	
	<p>語彙力を鍛える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な表現をつかひこなす <p>要約力を鍛える・仮説思考を身につける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長い文章を短くする/短い文章を長くするワーク ・論理的な文章に象徴される型を学ぶ(ヘーゲルの弁証法)・ 	<p>読解力を鍛える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読みづらい、わかりづらい文章を正しく理解する ・所信表明演説や小論文を読み解く <p>文章力を磨く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説得力のある文章を書いてみよう！ 	
担当講師	グレイスマナーズインターナショナル 佐藤 あけみ		<p>演習あり</p> 
備考・注意			




「ビジネスに必要な読解力・要約力・想像力向上研修」参加者の声

- 研修内容はもちろん教養的な範囲にもかなり多くの学びがあり
新たな発見や勉強につなげられそうです。
- 楽しい研修でした。
- 自分で要点をまとめるポイントが分かりました。

コース名	= どこに行ってもひっぱりだこ！最強の人材になろう = ビジネス基礎1（マナー編）		PS062
<p>ビジネスマナーについてしっかりと身につけていただきます。敬語の使い方や名刺交換、身だしなみなど、なぜそれらが必要なのかという理由も含め、丁寧に指導いたします。</p> <p>また、学生生活では経験することがない人間関係が社会の中では複雑に絡み合ってきます。その中で自分の立ち位置をしっかりと認識し、良い人間関係を築いていくことが求められます。人間心理を掴み、豊かな関係性を構築するためのコツやポイントを学んでいただきます。</p>			
日 程	2日間 12h 9:30~16:30 ※リクエストにより開催		
受講料	38,500円(税込)		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・人から好かれ、可愛がられる新人になる。 ・社会人としての意識およびビジネスマナーを身につける。 ・相手の言葉をしっかりと聞き取り、コミュニケーションをとることができる力を身につける。 		
受講対象 及び前提知識	新入社員、中途採用者、若手社員 ビジネスマナーやコミュニケーション力を身につけたい方		
内 容	1日目		2日目
	【社会人としての第一歩】 <ul style="list-style-type: none"> ・働くということ ・チームワークの大切さ ・情報の集め方 ・人脈の広げ方 ・人に好かれ、信頼を得るために心がけたいこと 		【ビジネスマナー】 <ul style="list-style-type: none"> ・好まれる言葉遣い・正しい敬語の使い方 ・間違いやすい言葉 ・電話応対の基本 ・訪問時の基本マナー・席次、名刺交換 ・来客応対（ご案内・湯茶接待）
※進捗状況により変更となる場合があります。			

コース名	= どこに行ってもひっぱりだこ！最強の人材になろう = ビジネス基礎2（仕事術・文書編）		PS063
<p>中途採用は「即戦力」を期待されています。</p> <p>基本スキルを再確認した上で、これから働く会社の「仕組み・必要不可欠な知識・プロセス」が何かを早目に理解することが必要です。自分に何を求められているか、を理解し「自ら考え動くことが出来る」力を身につけましょう。人の心を打つ文章のコツを身につけ、メール・文書の達人を目指しましょう。</p>			
日 程	2日間 12h 9:30~16:30 ※リクエストにより開催		
受講料	38,500円(税込)		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・即戦力として活躍することが出来るスキルを身につける。 ・作業効率の良い仕事術を身につける。 ・ビジネス文書作成、ビジネスメールのマナーを身につける。 		
受講対象 及び前提知識	新入社員、中途採用者、若手社員 作業効率の良い仕事術や文書作成などのビジネススキルを身につけたい方		
内 容	1日目		2日目
	【仕事の進め方・指示の受け方】 <ul style="list-style-type: none"> ・仕事の計画を立てる・報告/連絡/相談 ・タイムマネジメント・行動目標シートの作成 ・会社の利益を考えて行動できる社会人になるために 		【ビジネススキル】 <ul style="list-style-type: none"> ・電話、メール、文書、FAXの使いわけ ・社内文書と社外文書・封筒、はがきの書き方 ・依頼、お礼、謝罪など実際に文書を書いてみよう ・個人情報保護、SNS
※進捗状況により変更となる場合があります。			
担当講師	グレイスマナーズインターナショナル 佐藤 あけみ		PC実習あり 演習あり  
備考・注意	リクエストにより開催します。 開催希望の3ヶ月前までに、以下の項目をお知らせ下さい。 ・連絡先（御社名、担当者名、メールアドレス、電話番号）、開催希望時期、受講者数		

(2) ネゴシエーション


コース名	IT 技術者のためのネゴシエーション ＝ 社外・社内交渉をWin-Winにするために ＝		XS220
<p>「オンライン (Zoom)」開催研修です。</p> <p>研修受講者が業務で経験する実際の交渉事例 (クレーム対応、トラブル対応、新たな受注チャンスを見つけ、提案や営業活動につなぐなど) を元にネゴシエーションスキルを理論と実践により身につけます。実際の事例を使ったネゴシエーションゲームやロールプレイにより他の方々と交流でき、楽しく身に付けることができます。</p> <p>講師、他者、ビデオ等様々なフィードバックにより自己のネゴシエーションの特性が把握でき、受講者が強みを生かし、弱みを意味のないものにする方策を自ら見いだしていける内容です。</p>			
日程	2024-08-26 (月) ~ 2024-08-28 (水) 3日間 (12時間) 13:00~17:00		
受講料	55,000円 (税込)		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・交渉が今までよりも好きになる ・顧客への簡単な提案が出来るようになる ・自分一人で利害関係者との調整ができるようになる 		
受講対象 及び前提知識	業務上交渉力・提案力を必要としている方、又は今後必要とされる方 「IT 技術者と DX 推進者のためのコミュニケーション」を受講していることが望ましい		
内容	1日目	2日目	3日目
	~基本編~ 0. はじめに 1. ネゴシエーションにおける3類型 2. ネゴシエーションの基本 3. 交渉を問題解決に変えるには?・ロールプレイ	~交渉事例: ユーザの立場編~ 4. パイをふくらませる交渉とは? ・個人、グループワーク、発表、解説、ふりかえり 5. 事例研究 I (演習) 仕様変更、クレームの対処等ユーザーの立場からのロールプレイ ・個人ワーク・グループワーク・ロールプレイ (3~4回繰り返し) ・解説・振り返り・フィードバック	~交渉事例: ベンダーの立場編~ 6. 事例研究 II (演習) 仕様変更、クレームの対処等ベンダーの立場からのロールプレイ ・個人ワーク・グループワーク・ロールプレイ (3~4回繰り返し) ・解説・振り返り・フィードバック 7. 応酬話法集のまとめ 8. 総まとめ ・自己成長のための指針
担当講師	セイ・コンサルティング・グループ(株) 田渕真理子		演習あり 
備考・注意	◎実習環境: オンラインホワイトボード「MIRO」、ご自身の PC に文章作成ソフト (例: OfficeWord、メモ帳など) をご用意ください。		



オンライン「ネゴシエーション」参加者の声

- 実践的なロールプレイ演習が非常に良かったです


(3) リーダーシップ/ファシリテーション

コース名	IT 技術者のためのリーダーシップ ＝ 部下育成、動機付け、方針提示について学ぶ ＝		XS230
<p>「オンライン (Zoom)」開催研修です。</p> <p>IT 人材に必要な部下育成のスキル、会議運営のスキル、ビジョン・目標設定のスキルを理論と実践により身につけます。実際の事例を使った様々なロールプレイ、ディスカッション等により参加者の方々と交流でき、コンピテンシー(高業績者の行動特性)を学びあうことができます。講師、他者、ビデオ等様々なフィードバックにより自己のコミュニケーションの特性が把握でき、受講者が強みを生かし、弱みを意味のないものにする方策を自ら見いだしていける内容です。</p>			
日程	2024-10-07 (月) ～ 2024-10-09 (水) 3日間 12h 13:00～17:00		
受講料	55,000円 (税込)		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダーシップとは何か、リーダーの振るまいが理解できる ・部下、後輩育成が自分一人で実施できるようになる ・自己の目指すべきリーダー像が文章で明確化される 		
受講対象 及び前提知識	<p>業務上リーダーシップを必要としている方、今後必要とされる方</p> <p>「IT 技術者と DX 推進者のためのコミュニケーション」を受講していることが望ましい</p>		
内 容	1 日目	2 日目	3 日目
	<p>～コーチング編～</p> <p>0. はじめに</p> <p>1. リーダーシップとは</p> <p>2. 部下・後輩育成のためのコーチング</p> <p>3. コーチングロールプレイ</p>	<p>～ファシリテーション編～</p> <p>4. 自己のリーダーシップスタイルを知る</p> <p>5. ファシリテーションとは</p> <p>6. リーダーシップとマネジメントの違い</p>	<p>～ビジョン策定編～</p> <p>7. ビジョンの策定</p> <p>8. ビジョン策定演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別発表 ・受講者からのフィードバック ・講師コメント <p>9. 総まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己成長のための指針 「自己の強みを生かしたリーダーシップのあり方」
担当講師	セイ・コンサルティング・グループ(株) 田淵真理子		<p>演習あり</p> 
備考・注意	<p>◎実習環境：オンラインホワイトボード「MIRO」、ご自身の PC に文章作成ソフト (例：OfficeWord、メモ帳など) をご用意ください。</p>		



オンライン「リーダーシップ」参加者の声

- 非常に質問をしやすい雰囲気だったと思います
- とてもテンポが良かったです。内容も充実しており満足でした。

コース名	ファシリテーションを活用したチーム・マネジメント		PSO41
<p>ファシリテーションとは、会議を効率的に進めるだけでなく、集団の潜在的な能力を引き出してより質の高い成果を達成し続ける事のできるパワフルなツールです。リーダーだけでなく、組織で仕事をする人にとってなくてはならないスキルの一つです。</p> <p>20年間に渡り、年間300回を超える会議やワークショップのファシリテーションを実践してきた講師が、日々の会議を効果的に進める手法だけでなく、チームやプロジェクト運営にファシリテーションを活用する秘訣をお伝えします。</p>			
日程	第1クール 2024-07-25 (木) ~ 2024-07-26 (金) 第2クール 2025-02-06 (木) ~ 2025-02-07 (金) 2日間 12h 9:30~16:30		
受講料	55,000円 (税込)		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ファシリテーションを活用して「納得度が高く後戻りの少ない」意思決定を「短時間」で導けるようになる ・ファシリテーション技術を応用してチーム運営やプロジェクトの成功に貢献しプロジェクト成功率を今より高められるようになる 		
受講対象 及び前提知識	組織のリーダーとして、チームやプロジェクトを運営する方 チームでより多くの成果を生み出したい方 ファシリテーションのスキルを学び、実践していきたい方		
内容 ※進捗状況により変更となる場合があります。	1日目	2日目	
	1. 会議の問題点と限界 2. ファシリテートされたミーティングの体験と実践 3. ファシリテーションの必要性と効果 4. ファシリテーターに求められるスキルとマインド	5. デザインすることの重要性 6. チーム運営への活用 ~結果を出し続けるチームが行うミーティングとは 7. プロジェクト運営への活用 ~成功率を上げるミーティングデザインと運営	
担当講師	ジーンズ北海道(株) 高田 豊		演習あり 
備考・注意			




「ファシリテーションを活用したチーム・マネジメント」参加者の声

- 演習が多くあり、退屈しなかった。

業務に役立つ内容が多かったため実践していきたい。

(4) コーチング／チームビルディング／問題解決



コース名	コーチング・フィードバックを活用した 「自ら成長する」人材の育て方		PS040
	<p>【名選手、名監督にあらず】IT企業に働くリーダーやマネージャの悩みの多くは、技術力の強化ではなく「自身のコミュニケーション能力の向上」にあると言われています。自身のコミュニケーションスタイルを振り返り、ティーチング・コーチングの技術と活用方法を実践を通じて学びます。</p> <p>現場のリーダーの方だけでなく、人材育成を担当されている方へもお勧めします。人材育成に効果を挙げている企業の取り組み事例などもご紹介いたします。</p>		
日程	第1クール 2024-06-27 (木) ~ 2024-06-28 (金) 第2クール 2025-03-06 (木) ~ 2025-03-07 (金) 2日間 12h 9:30~16:30		
受講料	55,000円(税込)		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自身のリーダーシップスタイルを見直し部下とのコミュニケーションの質を高める ・相手にとって最適なコミュニケーション手段を選択し、使い分ける事ができる ・部下や後輩が自ら学び・成長する環境やきっかけを提供し、育成にかかる時間を減らしつつ育成効果を最大化する 		
受講対象 及び前提知識	組織のリーダーとして部下や後輩をマネジメント・育成する役割の方 OJT 担当者として新入社員等のトレーニングを担当される方 人材育成担当者として組織内の人材育成方法を検討・運営されている方		
内容	1日目	2日目	
	1. 人材育成における悩みと課題 2. 自身のコミュニケーションスタイルの把握と対策検討 3. 知識の上手な伝え方のポイント	4. ティーチング／コーチング／フィードバック ・それぞれの特徴と使い方 ・効果的な使い分け方法 5. チームの発展段階と効果的なマネジメント手法 (先進企業での取り組み事例紹介)	
担当講師	ジーンズ北海道(株) 高田 豊		演習あり 
備考・注意			





「コーチング・フィードバックを活用した

自ら成長する人材の育て方」参加者の声

- 少人数だったこともあり、演習にじっくり取り組むことができ非常に有意義でした。また実際に自分が直面している問題等をテーマとしていただいたのもよかったです。


コース名	 チームビルディングとモチベーションアップ = 5つ教えて、4つ褒め、一つ叱る =		PS026
<p>業界をリードするチームは、単なる個々の力ではなく、協力と結集によって成り立っています。当研修プログラムでは、IT業界におけるモチベーションの現状や、業界から離れる人々の避けられる原因に焦点を当て、チームビルディングとモチベーション向上の重要性を探求します。</p> <p>各セッションでは、チーム成立の3要件、チームで働く意義、そして現実的な問題解決のための演習やゲームを通じて、参加者の洞察力を高めます。モチベーション理論や褒める・叱るといった関連するスキルを磨き、双方向のコミュニケーションを強化します。</p> <p>また、叱る方法やアンガーマネジメントの理解も重視し、効果的なフィードバックや調整手法の学びを提供します。最後の総合演習では、チームの発展段階における各人の役割を観察し、受講者同士がフィードバックを行います。そして、自己成長のための実践的な指針を示し、研修成果の共有を促進します。受講者が研修で得た知識とスキルを現場に持ち帰り、それを積極的に活用するためのサポートも提供しています。</p> <p>このプログラムは、IT業界におけるチーム力強化とモチベーション向上のための包括的な研修であり、受講者が個人レベルでの成長を実感できると同時に、組織全体の成果にも寄与できるものとなっています。</p>			
日 程	2024-11-18 (月) ~ 2024-11-19 (火) 2日間 12h 9:30~16:30		
受講料	55,000円 (税込)		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・チームの混乱期を歓迎できる。 ・メンバーの褒め方を7つ以上使い分けられる。 ・モチベーション理論について基礎的な知識を身につけ他者に説明できる 		
受講対象 及び前提知識	チーム運営能力を必要としている方、今後必要とされる方		
内 容	1 日目	2 日目	
<small>※進捗状況により変更となる場合があります。</small>	チームビルディングとは チームのコミュニケーション モチベーション理論 褒める	叱る アンガーマネジメント 総合演習 受講者からのフィードバック、講師コメント ◎総まとめ ・自己成長のための指針	
担当講師	セイ・コンサルティング・グループ株式会社 田渕真理子		演習あり 
備考・注意			


コース名	 IT 技術者のための問題解決力向上 = なぜなぜから始める問題解決 =		XS280
<p>「オンライン (Zoom)」開催研修です。</p> <p>某自動車メーカーが発祥である問題解決のスキル、すなわち問題発見～解決策立案のスキルとそれらをワンペーパーにまとめて、ストーリー立てた説明により周囲を動かすスキルは業種や職種に関わりなく、すべてのビジネスパーソンに必要とされています。</p> <p>本研修においては、特に IT 現場に多く見られる人や組織の問題に焦点を当てながら、「なぜなぜ」による真の原因を見つけて排除していく思考の流れを学んでいきます。</p> <p>実務にありがちな問題を扱い、グループでのディスカッションを繰り返すことにより、他の参加者と交流でき、楽しくスキルを身に付けることができます。</p>			
日程	2025-02-05 (水) ~ 2025-02-07 (金) 3日間 12h 13:00~17:00		
受講料	55,000円 (税込)		
到達目標	問題解決の基本ステップを体得し、発生した問題を解決する思考を体得する 発生した問題における真の原因を論理的に見出すなぜなぜ手法が身に付く 既知の問題状況を説明し、関係者が納得できる解決シナリオをワンペーパーにて提案できる		
受講対象 及び前提知識	システム開発やシステム運用等に携わる方 特に前提条件はありませんが、実務経験1年以上あると望ましい。		
内 容 ※進捗状況により変更となる場合があります。	1日目	2日目	3日目
	問題解決の基本 問題解決の各ステップ (パート1)	問題解決の各ステップ (パート2)	問題解決の各ステップ (パート3) 問題解決全ストーリー発表会【グループ演習】 まとめ方と事例 総まとめ
担当講師	セイ・コンサルティング・グループ(株) 國分宏悦		演習あり 
備考・注意	◎実習環境：オンラインホワイトボード「MIRO」、ご自身の PC に文章作成ソフト (例：OfficeWord、メモ帳など) をご用意ください。		


9. メンタルヘルス


コース名	 IT 技術者のためのメンタルヘルス・マネジメント = 心を整える技術 =		XS270
<p>「オンライン (Zoom)」開催研修です。</p> <p>パワハラやセクハラ等が問題となっている昨今です。そこで本研修では、心の管理法を習得する心理学から考えられたメンタルヘルスマネジメント手法を提供します。心理学を基礎から学ぶことにより、個人の立場から具体的な行動レベルの知識を習得することができます。</p> <p>また、管理監督者の立場からメンタルタフネスを指導する方法や実際に起こり得る具体的な職場での対処法を学びます。</p>			
日程	2024-11-11 (月) ~ 2024-11-13 (水) 3日間 12h 13:00~17:00		
受講料	55,000円 (税込)		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・メンタルタフネスについて正しい理解をする ・メンバーのメンタル面を指導できる ・不調者に対して適切な対応ができる 		
受講対象 及び前提知識	メンタルヘルス・マネジメントを身に付けたい方		
内 容 ※進捗状況により変更となる場合があります。	1日目	2日目	3日目
	メンタルヘルスとは 心理学の基礎 心理学の応用 メンタルヘルスマネジメント	昨日の続き メンタルヘルスマネジメント 自分を知ろう 職場で起きやすいハラスメント対策	職場でのコミュニケーション方法 総合演習 総まとめ
担当講師	セイ・コンサルティング・グループ(株) 田沢真理子		演習あり 
備考・注意	◎実習環境：オンラインホワイトボード「MIRO」、ご自身の PC に文章作成ソフト (例：OfficeWord、メモ帳など) をご用意ください。		

10. 業務アプリケーション



コース名	業務で活かすアプリケーション! ExcelVBA 編		UD004
VBA プログラミングの基本的な考え方、作り方を演習プログラムを通じて段階的に習得することができます。ソフトウェア工学の基本的な考え方や手法を、業務事例の演習を通じて学ぶことができます。			
日 程	2 日間 12h 9:30~16:30 ※リクエストにより開催		
受講料	49,500円 (税込)		
到達目標	・VBA の基礎を習得し、更に業務に活かすために必要な VBA プログラミングの知識やポイントを習得することができる		
受講対象 及び前提知識	Excel を使い、作業の自動化や効率化など業務改善を実践したい方 Excel の基本操作、データ操作ができ、Excel 関数を使えている方		
内 容 ※進捗状況により変更となる場合があります。	1 日目	2 日目	
	Excel VBA の基礎編 ・VBA と VBE について ・VBA 文法の基礎 ・デバッグの仕方 ・関数とサブルーチンの利用	Excel VBA の応用編 ・エラー処理 ・業務でのイベント処理の活用 ・業務でのフォームの活用	
担当講師	IT コーディネータ 笠原 俊哉	PC実習あり 	
備考・注意	◎当コースを受講希望する方は、リクエストによる開催を承ります。 開催希望の3ヶ月前までに、kensyu@deos.co.jp宛 以下の項目をお知らせ下さい。 ・連絡先 (御社名、担当者名、メールアドレス、電話番号)、開催希望時期、受講者数 実習環境 : Office2016		


コース名	業務で活かすアプリケーション! Excel&Access 連携編		UD005
Excel と Access をどのように連携して、業務に活かせばよいか、VBA でより効果的なアプリケーションをどのように作成すればよいかを演習を通じて学ぶことができます。			
日 程	2 日間 12h 9:30~16:30 ※リクエストにより開催		
受講料	49,500円 (税込)		
到達目標	・業務で Excel と Access の特徴を活かした、VBA アプリケーション作成のポイントを習得することができる		
受講対象 及び前提知識	Excel と Access を活用した業務で、VBA アプリケーションによる連携を学びたい方。 業務で Excel、Access を使用したことがあり、「ExcelVBA 編」の受講者又は同程度の知識を持っている方。		
内 容 ※進捗状況により変更となる場合があります。	1 日目	2 日目	
	連携の基礎編 ・連携の基礎知識 ・データベースの基本 ・標準機能による Excel と Access の連携	Excel と Access の連携 ・ADO 及び SQL による連携 ・専用フォームを使った連携 ・業務アプリケーションの作成	
担当講師	IT コーディネータ 笠原 俊哉	PC実習あり 	
備考・注意	◎当コースを受講希望する方は、リクエストによる開催を承ります。 開催希望の3ヶ月前までに、kensyu@deos.co.jp宛 以下の項目をお知らせ下さい。 ・連絡先 (御社名、担当者名、メールアドレス、電話番号)、開催希望時期、受講者数 実習環境 : Office2016		

コース名	Access による業務 DB 作成基礎		UD011
Access の基本、Excel と Access の違い、業務で使用している帳票やフォーマットからどのようにデータベースを構築するかという流れや考え方を業務事例や演習で学ぶことができます。			
日 程	2 日間 12h 9:30~16:30 ※リクエストにより開催		
受 講 料	49,500円 (税込)		
到達目標	・ Access を通じて、データベースの基礎を学び、業務での活用方法の知識やポイントを習得することができる		
受講対象 及び前提知識	Excel でのデータ処理が物足りない方 初めて Access でデータベースを作成する方 データ活用を Access で実践されたい方 Excel 操作と関数、データの並べ替え・フィルターを使ったことがある方		
内 容 ※進捗状況により変更となる場合があります。	1 日目	2 日目	
	Access 基礎編 ・ Excel と Access の違い、データベースとは ・ Access の基本 ・ テーブル設計と作成	業務 DB 構築編 ・ リレーションシップとは ・ レポート帳票の作成 ・ 操作画面作成	
担当講師	IT コーディネータ 笠原 俊哉	PC実習あり 	
備考・注意	◎当コースを受講希望する方は、リクエストによる開催を承ります。 開催希望の3ヶ月前までに、kensyu@deos.co.jp宛 以下の項目をお知らせ下さい。 ・連絡先 (御社名、担当者名、メールアドレス、電話番号)、開催希望時期、受講者数 実習環境 : Office2016		

コース名	Access による業務 DB 作成応用		UD012
業務で使用している Access を、フォームとレポートを中心に、アプリケーションとして更に深化させるために必要な活用方法を、基本的なポイントから演習を通じて学ぶことができます。			
日 程	2 日間 12h 9:30~16:30 ※リクエストにより開催		
受 講 料	49,500円 (税込)		
到達目標	・ Access マクロを中心として、AccessVBA の基礎も習得することができる		
受講対象 及び前提知識	Access の基礎を理解し、ステップアップを目指している方 Access のマクロ、VBA の基本を理解されたい方 「Access での業務 DB 作成基礎」受講者あるいは同程度レベルの方		
内 容 ※進捗状況により変更となる場合があります。	1 日目	2 日目	
	Access アプリケーションの概要 クエリの作成 レポート&フォームの基本 レポート作成応用編 ・ オリジナルレポートの作成	フォーム作成応用編 ・ オリジナルフォームの作成 マクロ作成 AccessVBA の基本 ・ VBA による機能実装	
担当講師	IT コーディネータ 笠原 俊哉	PC実習あり 	
備考・注意	◎当コースを受講希望する方は、リクエストによる開催を承ります。 開催希望の3ヶ月前までに、kensyu@deos.co.jp宛 以下の項目をお知らせ下さい。 ・連絡先 (御社名、担当者名、メールアドレス、電話番号)、開催希望時期、受講者数 実習環境 : Office2016		



11. セキュリティマネジメント


コース名	初級情報システム管理者研修		UTO10
<p>TCP/IP ネットワークにおける通信の基本を速習するとともに、トラブル発生時の対処を模擬演習にて体験して頂きます。また、Windows ファイルサーバでのアクセス権設定等の基本事項を、実践的な例にて確認して頂くとともに、DFS やアクセス監査等の応用的な設定もご紹介します。実習環境にはサーバ仮想化技術を用いますので、仮想化技術を体験しつつスキルアップしたい初級システム管理者や情報セキュリティ管理者の方に最適な講座です。</p> <p>実習環境：OracleVM、WindowsServer</p>			
開催時間	2日間 12h 9:30~16:30 ※リクエストにより開催		
受講料	55,000円(税込)		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワークの基本的なトラブル対応ができる ・Windows ファイルサーバの、アクセス権割り当て等の効率的な管理ができる 		
受講対象 及び前提知識	情報システム管理担当者 業務でPCを利用しており自PCの環境をセットアップできる。又は同等の知識を有する方		
内容 ※進捗状況により変更となる場合があります。	1日目	2日目	
	TCP/IP ネットワークの基本知識 トラブルシュートの基本 トラブルシュート実習	Windows ファイルサーバの基本構成 Windows ファイルサーバの応用構成	
担当講師	デバイド・コンカー 部坂 征司	PC実習あり 	演習あり 
備考・注意	<p>◎当コースを受講希望する方は、リクエストによる開催を承ります。</p> <p>開催希望の3ヶ月前までに、kensyu@deos.co.jp宛 以下の項目をお知らせ下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連絡先(御社名、担当者名、メールアドレス、電話番号)、開催希望時期、受講者数 		



コース名	セキュリティキャッチアップ		US200
<p>セキュリティインシデントは毎年色々な形で顕在化するため最新の事例を確認することで自身・自社のセキュリティ対策に活かすことが可能です。また、セキュリティ対策は、システムや設備だけでなくそれに関わる人の意識が非常に重要であるためその意識向上にも大きく役立ちます。セキュリティ対策を専門的に行う方だけでなく、企業に携わる全ての方に受講することをお勧めできます。</p>			
開催時間	3h~6h程度 ※オーダーメイド研修により開催		
受講料	別途お見積りを致しますので、お問い合わせください		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・IPA発行の10大脅威を元に近年流行している脅威を知り対策を考えられるようになる ・セキュリティの脅威を伝えることができるようになり危機管理の重要性を理解できる ・実際の脅威を試して危険性を体験する 		
受講対象 及び前提知識	セキュリティに携わる方全般 特にありませんが、セキュリティの基礎知識があると理解度が高まる		
内容 ※進捗状況により変更となる場合があります。	以下のテーマからご希望の内容で開催します。		
	<ul style="list-style-type: none"> ・その年の10大脅威 ・近年のセキュリティインシデント実例 ・演習：危険な脅威の体験 	<ul style="list-style-type: none"> ・トップ3の分析 ・各種セキュリティ対策と効果的な対策方法 	
担当講師	株式会社エルボスケ 神谷 正	演習あり 	
備考・注意	<p>◎当コースを受講希望する方は、オーダーメイドによる開催を承ります。</p> <p>開催希望の3ヶ月前までに、以下の項目を kensyu@deos.co.jp宛 お知らせ下さい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連絡先(御社名、担当者名、メールアドレス、電話番号)、開催希望時期、受講者数 		


1 2. 階層別研修


(1) 管理職、管理職候補者

コース名	新任管理職や管理職候補者のための  「メンバーの意欲を上げる かかわり方・考え方と手法」		PS022
<p>管理職を目指したい人が減っていると最近よく耳にします。「仕事量が増える」「自分の成果も、課の成果も両方達成しなければならないので負担感がある・・・」「多様なメンバーを束ねるのが大変・・・」などが背景にあるようです。しかし、マネジメントの仕事は、お互いを認め、尊重し合うチームを形成し、意欲の高いメンバーに囲まれ、皆で目標を達成したときは昂揚感につながり、自身のやりがいにつながる仕事であるのも事実だと思います。このコースでは、マネジメントやリーダーシップの基本的な考え方と現場ですぐに実践できるスキルを学びます。</p> <p>自薦でも上司推薦でもどちらでも OK です。役職者になったばかりの方、これからそのようなキャリアを期待されている方など対象にしております。</p>			
日 程	2024-7-18(木) 7h 9:30～17:30		
受講料	38,500円(税込)		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・成果につなげていくために、メンバーの意欲を高めていくことが大切であることの認識が深まる ・メンバーの成長と組織の成果が実感できると、自身のやりがいになることの認識が深まる (マネジメントを通じて自己のやりがいを感じる) ・メンバーとの効果的なコミュニケーションや意欲をあげるための基本的な考え方やスキルが身につく 		
受講対象 及び前提知識	主任やチーフ: 担当役割の責任が拡大した(拡大する予定)方、役職者への登用が決定している方(経営職の方が) 役職者への登用を期待している方、転職して役職者に登用された方		
内 容	マネジメントの基本 (2つの側面、4つの領域) ※小講義+自己チェック+グループ共有 メンバーの意欲を高めるはたらきかけ ※小講義+演習+グループ共有 チームの雰囲気向上のための働きかけ ※小講義+演習+グループ共有 マネジメントを通じて自己を成長させる ※個人検討+グループ共有 ※進捗状況により変更となる場合があります。		
担当講師	八木 良紀 (株式会社ワークライフスポーツ)	演習あり 	
備考・注意			


<p>コース名</p>	<p>NEW 人生100年時代のキャリア形成と世代間ギャップ解消 =相互理解でリスペクトしあえる組織づくり=</p>		<p>PS072</p>
<p>世代間ギャップがある職場で、相互理解でリスペクトしあえる組織をつくるには、どうすればいいの？その疑問にお答えする研修です。</p> <p>社会的変化・背景を学ぶことにより、組織内の課題の背景理解や根本要因・絡んでいる問題を知る手掛かりを掴み、人材に関する様々な課題の軽減や予防が可能になります。</p> <p>組織が持つ課題は、心理学の手法を学ぶことである程度解決の道筋が立ちます。</p> <p>互いに悩まず、生き生きと働きやすい職場作り策が分かることで、社内・人材活性化はもちろん、心理的安全性にも繋がり、定着支援ややりがい作りができるようになります。</p> <p>人的資本経営の観点からも、変化の激しい時代、労働人口減少の中、一人一人のもつ価値をこれまで以上に存分に発揮させることが急務です。そのためには一人一人への理解を深めることが必要です。</p>			
<p>日 程</p>	<p>2024-07-08 (月) 4h 13:00~17:00</p>		
<p>受講料</p>	<p>16,500円(税込)</p>		
<p>到達目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多様性(ダイバーシティ)や働き方改革の影響による社会的変化・背景を理解し、価値観ギャップ・世代間ギャップを理解したマネジメントができるようになる ・ヒトの成長発達過程に着目し、成長過程で起こる心理的特徴や課題・関わり方を理解できるようになる ・個々人の性格や考え方はどのようにして作られるのかを理解することで、効果的効率的な適性を考えることができる ・顧客にコンサルテーションし、製品開発や企画を業務とする方は、課題把握のポイントを掴むことができるようになる 		
<p>受講対象 及び前提知識</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・組織のキャリアマネジメント担当者 ・管理職、リーダー、リーダー候補 ・特に以下の課題や要望をお持ちの方 世代間ギャップ、ダイバーシティー化促進、帰属意識強化、定着支援・離職防止、組織のコミュニケーション活性化 <p>年代に人数のばらつきがある組織の所属の方 (例：若手の採用人数が少なく同期が少ない、年齢層の空洞化がある)</p> <p>客先への提案や営業・製品開発のために各世代のニーズや社内課題の情報収集が必要な方</p>		
<p>内 容</p> <p>※個別状況により変更となる場合があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・世の中で言われる世代の特徴とその背景、課題や対応策 ＜ワーク＞社内課題の発見や要因分析 ・ヒトの成長発達過程に着目し、成長過程で起こる心理的特徴や課題・関わり方を学ぶ ・個人の特性への正しい理解の仕方とありがちミス ・社会背景から見る世代間ギャップの要因理解。 ＜ワーク＞講義内容を踏まえ、今後の社内課題の予測や対応を考える (社会変化や会社の状況にあわせて) 		
<p>担当講師</p>	<p>上田菜香(産業カウンセラー、国家資格キャリアコンサルタント、メンタルヘルス、コーチング、キャリア教育コーディネーター)</p>	<p>演習あり</p> 	
<p>備考・注意</p>			


コース名	 相手との理解を深め、最大のアウトプットを出すための コミュニケーション（傾聴）研修		PS073
<p>複雑かつ変化の激しい世の中で、社内外の課題や要求は多様化しています。 従来型のマネジメントや自身の価値観のみに捕われた関わり方では、ステークホルダーと軋轢が生じたり、信頼関係構築が難しくなることも少なくありません。 このようなことに対応するためにまずは、一人一人の話をちゃんと聞いて課題や要求を理解する「傾聴力」を身に付けることが重要です。 心理学的な裏付け（理論）や実践的なワークにより、これまで「対人関係」に苦手意識のあった方も理解がしやすく、論理的に必要なことや解決法が分かり、コミュニケーションに自信が持てるようになります。</p>			
日 程	2024-08-23（金） 4h 13:00～17:00		
受講料	16,500円（税込）		
到達目標	<p>短時間で効果的なコミュニケーションの場を作ることができるようになる 個々が機能するために一人一人の意見や話にどのように耳を傾けたら良いかが分かるようになる（傾聴力強化） メンバーが協調性を持ちながらも活発に意見交換するための環境の作り方を理論から理解できるようになる 活性化のため、チームや集団に関する心理学の知識や事例を得て、心理や理屈を理解しながら、ファシリテートやコーチ役（伴走）ができるようになる</p>		
受講対象 及び前提知識	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職、リーダー、リーダー候補 ・採用・面接担当者 ・営業職 ・多様性理解、組織活性化、社員一人一人の知識や経験にもっとスポットを当てていきたいとお考えの組織 		
内 容 ※進捗状況により変更となる場合があります。	<ul style="list-style-type: none"> ・短時間で効果的な関係構築づくりのために必要なもの ＜ワーク＞具体的ななかかわり姿勢のポイント ・コミュニケーションの違いとその効果・影響 ＜ワーク＞承認の示し方、質問の工夫 とるコミュニケーションの違いにより、得られる反応が異なってくることを頭に入れ、状況や人が変わってもゴールに効果的に向かうことのできるコミュニケーションスキルの習得を目指す ・円滑な運営に必要な心理学の知識 人の欲求の成り立ち 向上する組織とそうでない組織の心理的作用の違い ・心理学を用いた活性化策 組織のタイプや段階・状況の違いによる強化策や注意点 ・引き出す、掘り下げる、広げる、深める、展開させるための傾聴のコツのまとめ (安心・安全の場作りにはどんな工夫が必要か) 		
担当講師	上田菜香（産業カウンセラー、国家資格キャリアコンサルタント、メンタルヘルス、コーチング、キャリア教育コーディネーター）	演習あり 	
備考・注意			

コース名	管理職、リーダーのための メンタルヘルス・マネジメント		PSO50
<p>様々な統計によると、IT企業におけるうつ病罹患率は2倍以上に上ると報告されています。このようなメンタルヘルスの問題は、単なるコストだけでなく、生産性やコンプライアンスにも大きな脅威を与えています。社会的損失額はなんと3兆円にも上ると言われており、この状況は組織の健全性と成長に直接影響を及ぼす可能性があります。</p> <p>この研修は、管理職やリーダーが直面するこれらの課題に焦点を当てています。心理学を基盤とし、実際のメンタルヘルスマネジメント手法を学ぶことで、組織内で具体的なアクションを展開できるようサポートします。</p> <p>心理学の基本から学び、メンタルヘルスの管理やリーダーシップにおける具体的な知識を獲得します。また、メンタルタフネスの育成方法、そして実際の職場で発生するであろうメンタルヘルスの問題に対処するための手法などを習得します。これにより、組織内でのメンタルヘルスに関するリーダーシップを強化し、持続可能な健全な職場環境を構築する手助けをします。</p>			
日 程	2024-10-17(木) 6h 9:30~16:30		
受講料	27,500円(税込)		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・メンタルタフネスについて正しい理解をする ・メンバーのメンタル面を指導できる ・不調者に対して適切な対応ができる 		
受講対象 及び前提知識	管理職、リーダー 部下や後輩のメンタルケアに責任のある方		
内 容 ※進捗状況により変更となる場合があります。	メンタルヘルスとは 心理学の基礎 心理学の応用 メンタルヘルスマネジメント	自分を知ろう 職場で起きやすいハラスメント対策 職場でのコミュニケーション方法 総合演習	
担当講師	セイ・コンサルティング・グループ(株) 田渕真理子		演習あり 
備考・注意			

コース名	管理職、リーダーのための アンガーマネジメント		PS051
<p>コロナ禍におけるストレスや多様性の考え方や価値観の違いなどから生じるイライラは、多くの人々に影響を与えています。特に管理職の方々にとって、怒りやストレスを適切に扱うことは極めて重要です。このため、アンガーマネジメントとは何か、そしてなぜそれがリーダーシップにおいて重要なかを理解することが重要です。</p> <p>アンガーマネジメントは、1970年代にアメリカで生まれた心理教育およびトレーニングの手法です。このプログラムは、当初は犯罪者のための矯正プログラムとして開発されましたが、その後、時代の変遷とともにビジネスやリーダーシップの領域にも応用されるようになりました。</p> <p>本研修の目的は、怒りを抑えつつも、怒るべき局面で怒りを上手に扱うためのスキルを身につけることです。アンガーマネジメントは、怒りを完全に抑制することを目指すものではありません。むしろ、怒りを理解し、上手にコントロールする方法を学ぶことで、ビジネス環境や人間関係を向上させる手段となります。</p> <p>この研修では、自己認識や診断を通じて、怒りの発生やその対処法について学びます。怒りが感情的な反応につながるのを防ぎ、冷静な対応をとるための方法を探求します。叱り方や注意・指導の方法を学ぶことで、より建設的なコミュニケーションを醸成し、チーム全体のパフォーマンスを向上させることが期待されます。</p> <p>また、リーダーシップにおいて怒りを理解し、コントロールするための手法を提供し、効果的なコミュニケーションと人間関係構築に焦点を当てています。</p>			
日程	2024-10-18(金) 6h 9:30~16:30		
受講料	27,500円(税込)		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・怒りの感情について正しい理解をする ・怒りの感情をコントロール方法を学ぶ ・様々な分析により、自身の怒りを知って対処法を学ぶ ・円満な人間関係をつくるコミュニケーション方法を身につける ・効果的な叱り方(注意・指導)を学ぶ 		
受講対象 及び前提知識	管理職、リーダー アンガーマネジメントについて基礎知識を学びたい方、効率的な叱り方を身につけたい方		
内容 ※進捗状況により変更となる場合があります。	<ul style="list-style-type: none"> ・アンガーマネジメントとは ・怒りの感情のコントロール ・怒りの感情をコントロールするテクニック3つ <ol style="list-style-type: none"> (1) 衝動のコントロール (2) 思考のコントロール (3) 行動のコントロール 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分を知ろう ・円満なコミュニケーション方法(仕事編・プライベート編) ・叱り方(注意・指導)を学ぶ <p>◎総まとめ アンガーマネジメントのための指針 ～研修成果お持ち帰りシートの記入と全員発表～</p>	
担当講師	セイ・コンサルティング・グループ(株) 田淵真理子	演習あり 	
備考・注意			

(2) 中堅社員、リーダー

コース名	中堅社員のための「問題解決」		PSO20
<p>目の前の仕事を漫然とこなすのではなく、より高い成果に向けた改善や問題解決が期待される中堅社員。しかし、「思いこみや偏った見方」「論理性の不足」「その場しのぎ」など、中堅社員の問題解決力不足を指摘する声が多いのが実情です。この研修では、基本的な問題解決の考え方、解決のステップについて学習します。また、身近なケース演習を通じて実際に問題解決のステップを活用していただき、現場で活用していただくための橋渡しの場とします。個人検討だけではなく、グループ演習を行いながらワイワイガヤガヤ楽しく話し合いながら「体験学習型」のスタイルで実施します。</p> <p>※ちょっとした異業種交流的な雰囲気の中で行われ、対面型研修ならではの知的交流の場になっています。</p>			
日 程	2024-09-05 (木) ~ 2024-09-06 (金) 2日間 14h 9:30~17:30		
受講料	77,000円 (税込)		
到達目標	<p>問題解決についての基本的な考え方、解決のためのステップについて理解することができる。「経験」や「勘」に頼るのではなく、事実やデータを用いながらロジカルな思考をすることの重要性に気づく。問題解決を行うことを通じて、組織の成果に貢献していくことの重要性に気づく。</p>		
受講対象 及び前提知識	<p>中堅社員：入社5～7年目社員 主任やチーフ：担当役割の責任が拡大した（拡大する予定）方 転職した先で初めてチームの成果責任を期待されるような役割を担当する方</p>		
内 容	1 日目		2 日目
	<p>仕事を効果的に行う3つのスキル 問題とは、問題と課題の違い、問題解決とは問題解決演習</p>		<p>問題解決ケーススタディ 現場への橋渡し ・2日間の学びを現場にどう活用していくか</p>
※進捗状況により変更となる場合があります。			
担当講師	八木 良紀 (株式会社ワークライフスポーツ)		<p>演習あり</p> 

コース名	中堅社員のための 「自分らしく働くための自己の棚卸し」		PSO21
<p>人材の流動化が加速しています。仕事を通じて成長したい、仕事を通じて達成感を味わいたい……。など働くことで自身の生活の質を高めていきたいと考えている人が増えて来ていることを実感している人は少なくないと思います。言われたことを粛々とこなす仕事スタイルから、自分なりの意味を実感できるような働き方について、組織側も個人側も変革が求められていると思います。</p> <p>この研修では、あらためて自分自身の”働く意味”について自分自身との対話（文章化・言語化）、参加者同士の対話を通じて考えていただこうと思っています。モヤモヤしている人大歓迎です。ある程度実感がある人も再認識の場としてご活用ください。部下のイキイキを支援したいと考えている上司の方は、是非部下の方に受講を勧めただければと思います！</p>			
日 程	2024-07-19（金） 7h 9:30~17:30		
受 講 料	38,500円（税込）		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身が働くうえで大切にしている事（大切にしてきたこと）を言語化・文章化することによって、自身の働く意味（内的キャリア）が整理され、今の仕事を通じてさらに成長していくという前向きな気持ちが醸成される。 ・企業人としてさらに成長していくための自分自身の啓発ポイント（スキル）が整理される。 ・現在の仕事を通じて、自身の啓発ポイント（スキル）を開発していくためのプランがデザインされる。 		
受講対象 及び前提知識	<p>中堅社員：入社5～7年目社員 主任やチーフ：担当役割の責任が拡大した（拡大する予定）方 転職した先で初めてチームの成果責任を期待されるような役割を担当する方 （今以上に）仕事を通じて生き生きと働きたい、成長したいと考えている中堅社員の方</p>		
内 容 ※進捗状況により変更となる場合があります。	<p>効果的に仕事を遂行していく力（職種を超えて必要になる基礎力）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己チェック <p>自分を成長させた仕事や周囲とのかかわり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人検討、グループ共有 <p>私が取り組むべき事柄とそこから身につくスキル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人検討、グループ共有 <p>スキルを身につけたその先の未来を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私の大切にしていること ・私が仕事を行う上で大切にしている事 		
担当講師	八木 良紀（株式会社ワークライフスポーツ）	演習あり 	
備考・注意			

オーダーメイド研修について

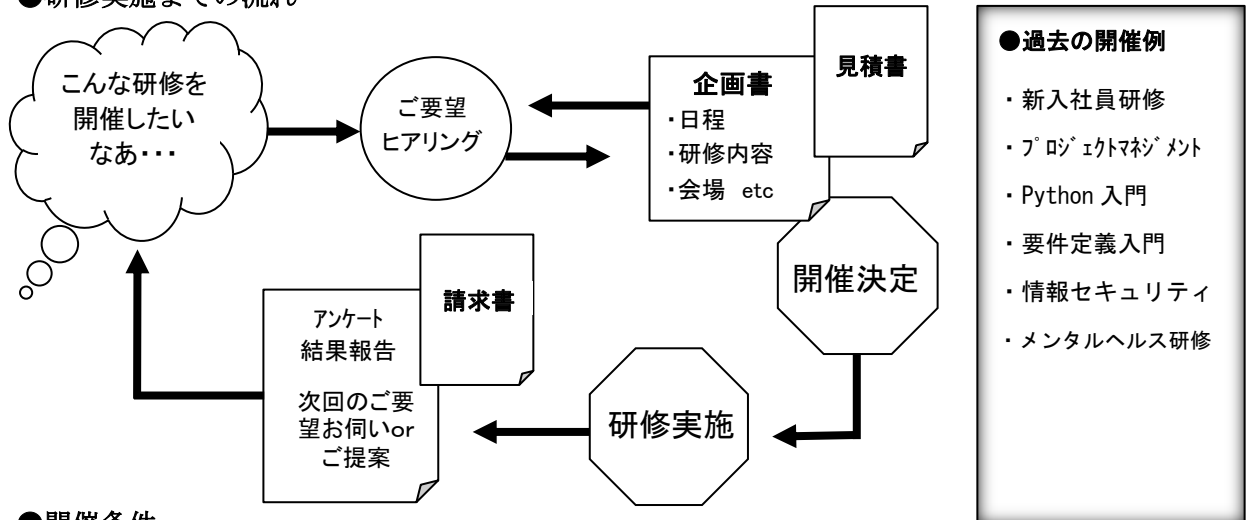
こんな研修がしたい

貴社のご要望に合わせた、今実施したい研修を提供します。
オープン研修以外にもご要望に応じて内容・レベルなどご相談に応じます。
「こんな研修を開催したいなあ・・・」と思ったらお気軽にご相談下さい。

●個別企業研修のメリット

- ☑ ご希望の日程で研修を開催できます。
- ☑ ご要望にピッタリ合った内容レベルで研修を開催できます。
- ☑ 会場は条件が整っていれば、ご希望の場所で開催できます。

●研修実施までの流れ



●過去の開催例

- ・新入社員研修
- ・プロジェクトマネジメント
- ・Python 入門
- ・要件定義入門
- ・情報セキュリティ
- ・メンタルヘルス研修

●開催条件

参加人数5名以上で承ります。1社でなくても複数社の合同開催もお受けします。

リクエスト研修について

オープン研修をリクエスト

オープン研修のカリキュラムの中から、ご希望コースの開催リクエストを受け付けております。中止又は既に開催日を過ぎてしまったコースをもう一度企画します。

例) Excel/VBA、Python、初級システム管理者研修など

●リクエストの方法

※開催希望時期の3ヶ月前までにメールでご連絡ください。

Web サイトのお問い合わせフォーム
件名：研修について
・連絡先 (御社名、担当者名、メールアドレス、電話番号)
・コース名
・開催希望時期
・受講者数



・会場、担当講師など開催に向けて検討させていただき開催可否の回答を致します。

・その後、一般募集を開始し、開催日の2週間前までに<5名以上>集まれば開催決定です。

なお、カリキュラムに無いコースは「オーダーメイド研修」となりま

助成金について

2024年2月現在

人材育成に取り組む会社の事業主の方へ経費や賃金等一部を助成する、厚生労働省の「人材開発支援助成金」をご活用ください。

御社の条件により、ご活用いただける「助成金コース」が異なりますので、事前に必ず「雇用助成金さっぽろセンター」へお問い合わせください。

【助成内容】 詳細は各種リーフレットをご参照ください。

支給対象となる訓練 (OFF-JT)	経費助成		賃金助成 (1人1時間当たり)	
	中小企業	大企業	中小企業	大企業
① 人材育成支援コース 人材育成訓練※1	正規雇用：45%	正規雇用：30%	760円	380円
	非正規維持：60%			
	正社員化：70%			
② 人への投資促進コース 高度デジタル人材訓練※2	75%	60%	960円	480円
③ 事業展開等リスキリング 支援コース※3	75%	60%	960円	480円

※1 10時間以上のOFF-JT（正規・非正規を問わない）

※2 ITSS（ITスキル標準）レベル4または3となる訓練（高度情報通信技術資格の取得のための訓練または第四次産業革命スキル習得講座）に活用できます。

※3 事業展開は行わない場合でも、事業主において企業内のデジタル・デジタルトランスフォーメーション（DX）化やグリーン・カーボンニュートラル化を進める場合に、これに関連する業務に従事させる上で必要となる専門的な知識及び技能の習得をさせるための訓練に活用できます。

【助成金のお問い合わせ先】

北海道労働局 雇用助成金さっぽろセンター

電話番号：011-788-9070



お申し込みについて

◆お申し込み方法

○当社Webサイト経由、又は所定申込用紙に必要事項をみれなくご記入の上、メール添付等でお申し込み下さい。電話での申込は、受付しておりません。
お問い合わせ及びご予約は、メール、電話でも承ります。
なお、申込締切日は、コース開始日の2週間前となっております。

○申込締切日以降でも、空席がある場合には、受講可能な場合もございますので、お電話またはメールにてお問い合わせください。

○お申し込み後は、弊社より必ず「受付完了メール」をお送りします。2～3日経っても弊社からメールが届かない場合は、申込書が到着していない場合がございますので、お手数でもご連絡下さい。
受講票兼開催案内は、開催1週間くらい前までに責任者宛にメールで送付します。

○申込締切の時点で、コース最低開催人員に満たない場合は、中止させていただく場合がありますので、ご了承下さい。

◆お申し込みの変更及びキャンセルについて

○受講者の変更、連絡先の変更など申込内容の変更はメール又はお電話でご連絡ください。

○キャンセルをされる場合には、コース開催日7日前17:00までにメールまたはお電話でご連絡ください。それ以降コース開催6日前より、受講料全額をご請求させていただきます。出来る限り、代理の方のご出席をお願いいたします。

○コース開催日にご連絡なく講座を欠席された場合も、受講料全額を請求させていただきます。

※eラーニング(SQT)のキャンセルポリシーは「45 ページ」をご覧ください。

◆受講料の消費税及びお支払い方法

○表示の金額はすべて消費税10%を含めた金額です。

○受講料のお支払いは、講習会終了後、末締め翌月末支払期限で請求書をお送りしますので、期日までに当社指定の口座へお振り込みください。なお、お振り込み手数料は、ご負担ください。

◆お問い合わせ・お申し込み先

(株)北海道ソフトウェア技術開発機構 事業部

TEL: (011) 816-9700

E-Mail: kensyu@deos.co.jp URL: <https://www.deos.co.jp>

講習会申込書

令和 年 月 日

(株)北海道ソフトウェア技術開発機構 事業部研修課 行
e-mail:kensyu@deos.co.jp

貴社名・団体名		助成金利用(有・無)
貴社住所 (請求書送付先)	〒	
御 申 込 責 任 者	所 属 部 課 名	
	役 職 名	
	氏 名	
	電 話 番 号 ()	-
	電 子 メ ー ル	※受講案内を直接受講者に送信ご希望の場合は、受講者の欄にもメールアドレスを記載してください。
<p>■個人情報の取扱いについて 個人情報は、当社の個人情報保護方針によって保護され、当事業以外の目的で利用いたしません。当社が取得する個人情報の利用目的は次の通りです。 ①研修およびセミナーの申込受付及び運営を適切かつ円滑に行うため ②受講票および受講案内発行、請求書発行等の研修業務に係る事務処理を適切かつ円滑に行うため ③メールマガジンによる研修及びセミナー、各種サービスを案内するため ④新商品・サービスの研究や開発を目的とする市場調査やデータ分析のため ⑤お客さまからの問い合わせへの回答、資料発送のため</p>		

コースNo.	(日 程) コース名	(フリガナ) 受講者名	所属部課名/役職名
	電子メール※受講案内を直接受信希望		
	(/ ~ /)	()	
	(/ ~ /)	()	
	(/ ~ /)	()	
	(/ ~ /)	()	
	(/ ~ /)	()	

備 考 欄 (連絡事項などございましたらご記入下さい。)

DX時代に求められる 人材育成に ご活用ください。

創業33年。北海道ソフトウェア開発機構は、
北海道の高度IT技術者の育成を目的に、
国、北海道、札幌市、産業界の出資によって設立された法人です。



(株)北海道ソフトウェア技術開発機構 (DEOS)

〒003-0801 札幌市白石区菊水1条3丁目1番5号 メディアミックス札幌
TEL.011-816-9700 FAX.011-820-1166
<https://www.deos.co.jp>



Access

地下鉄東西線菊水駅4番出口より徒歩4分
(札幌東年金事務所隣)

